第8回協議会
詳細資料２

「水防災意識社会　再構築ビジョン」に基づく
烏・神流川流域の減災に係る
取組実施状況フォローアップについて（案）

令和４年５月１１日

烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県
（独）水資源機構下久保ダム管理所、気象庁前橋地方気象台・熊谷地方気象台、
東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、上信電鉄株式会社、関東地方整備局高崎河川国道事務所

目次

取組番号	重点項目	取組項目名	取組機関
1	【重点】	新たな関係機関参画の検討・推進	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、関東地方整備局
2		優先的に実施する堤防整備（流下能力対策）	関東地方整備局
3		事前防災等の必要な樹木伐採・河道掘削の実施	関東地方整備局
4		雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための施設を必要に応じて整備	群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局
5		堤防等の復旧を効率的に行うための水防拠点や堤防天端上の車両交換場所の整備促進	関東地方整備局
6		水防資機材の配備	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局
7		市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実	藤岡市、JR東日本高崎支社、上信電鉄
8		樋管の操作不要な無動力ゲートの導入による確実な運用体制の確保	関東地方整備局
9		リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、関東地方整備局
10	【重点】	情報伝達手段の多重化（コミュニティFM放送の整備、防災ラジオの配布、SNS配信など）	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局
11		ライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、上信電鉄、関東地方整備局
12	【重点】	避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）の関連機関との連携状況や訓練の実施等を踏まえた精度向上	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局
13	【重点】	広域避難計画の策定	高崎市、藤岡市、玉村町、上里町
14		緊急避難場所の確保	高崎市
15	【重点】 Ｒ３	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成。避難訓練の実施	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県
16		浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設等への情報伝達体制の確保	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町
17		洪水時におけるホットライン	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局
18		市町のまちづくり担当部局等に対し、水害リスク情報を提供	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、関東地方整備局
19		不動産関連事業者に対し、不動産関係団体の研修会等で水害リスク情報を提供	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、関東地方整備局

取組番号	重点項目	取組項目名	取組機関
20	【重点】	市町・自主防災組織等による要配慮者の避難支援体制の推進	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、埼玉県
21	【重点】	避難場所（避難所）改善検討	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町
22	【重点】	想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域に基づく、洪水ハザードマップの普及・啓発	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局
23		気象庁で提供する防災気象情報活用に向けた普及・啓発	前橋・熊谷地方気象台
24		地域の自主的な避難につながる避難訓練等の実施	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町
25		自主防災組織の維持と避難誘導者の担い手の指定・育成	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県
26	【重点】 R３	防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局
27	【重点】	浸水想定区域内の小中学校等における水防災教育の実施 （教育委員会及び教職員と連携し、継続的な水防災教育の場を実現する。）	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局
28	【重点】 R３	関係自治体等の公共施設及び公共交通機関施設等への防災関連情報の掲示やパンフレットの設置	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局
29	【重点】 R３	浸水想定区域内の水害リスクのある住民等に対するマイ・タイムライン（避難行動計画）の作成・普及啓発	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局
30	【重点】	災害リスクの現地表示の促進（まるごとまちごとハザードマップの実施）	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県
31	【重点】 R３	自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局
32		水防団等への連絡体制の確認と伝達訓練の実施	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県
33	【重点】	関係機関と連携した水防技術の継承等のための水防訓練の実施	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局
34		水防団員の実働者（担い手）の確保	玉村町、神川町、上里町
35	【重点】 R３	排水作業準備計画（案）に基づく関係機関と連携した緊急排水活動の実働訓練の実施	高崎市、藤岡市、群馬県、関東地方整備局
36		排水作業準備計画（案）に基づく排水樋管の管理者（操作委託者）による樋管操作訓練の実施	高崎市、藤岡市、玉村町、関東地方整備局

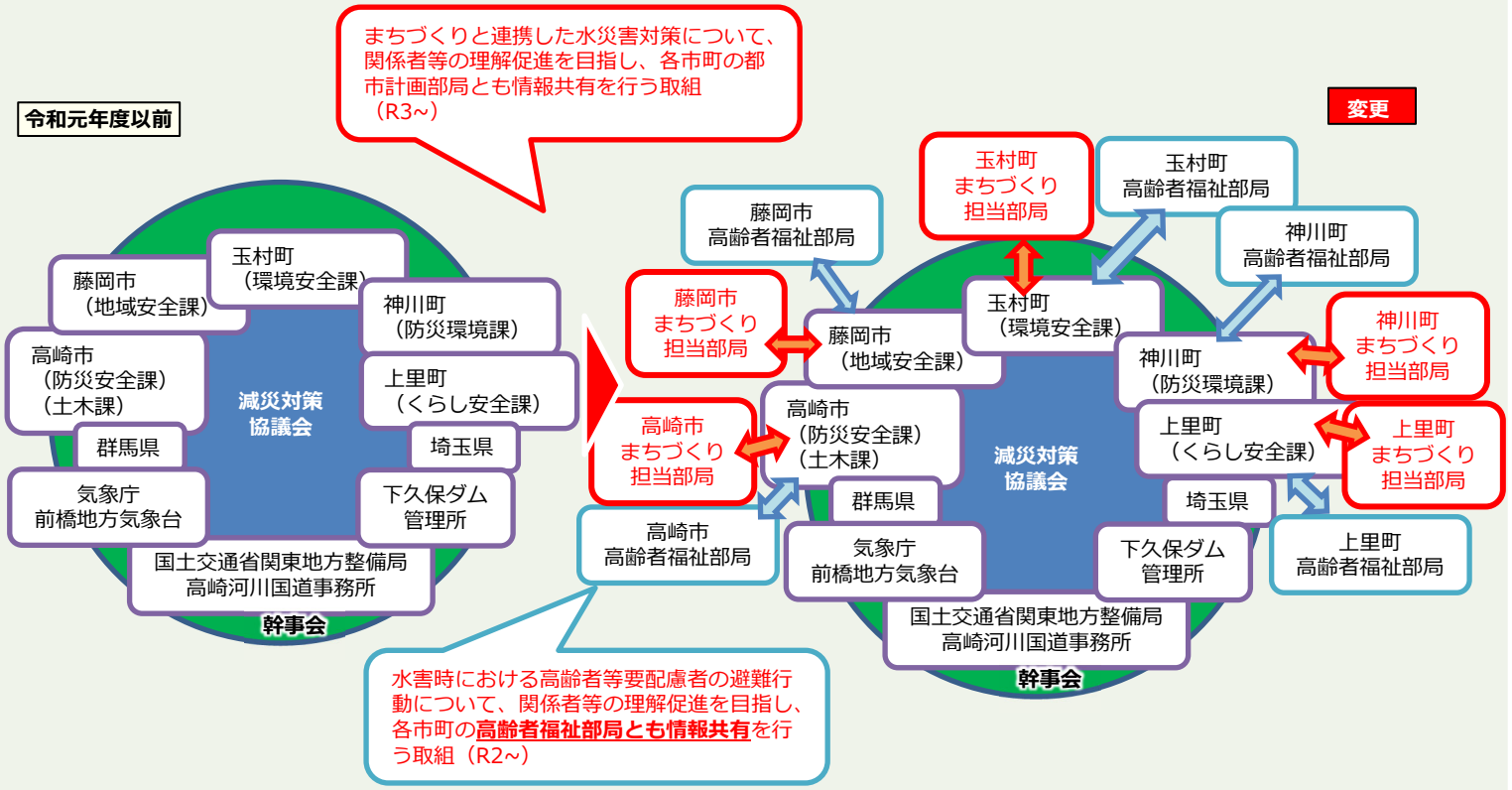
取組番号	1	取組項目名	【重点】 新たな関係機関参画の検討・推進	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、 関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・高齢者福祉部局へ情報共有（水害時における高齢者等要配慮者の避難行動の理解促進に関する取組について）（各市町） ・市町の防災部局、高齢者福祉部局に加え、都市計画部局等への協議会の取組共有を働きかける（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・高齢者福祉部局へ情報共有した。 ・まちづくり担当部局へ情報共有した。（各市町） ・市町の防災部局だけでなく、高齢者福祉部局等への協議会の取組共有を働きかけた（関東地方整備局）
実施予定	・毎年度継続実施

・防災部局から高齢者福祉部局への情報共有（R2~継続実施）
　令和3年５月～　情報共有を実施

・防災部局からまちづくり担当部局への情報共有（R3~継続実施）
　令和3年５月～　情報共有を実施



取組番号	2	取組項目名	優先的に実施する堤防整備（流下能力対策）	取組機関	関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・堤防が整備されていない区間の堤防整備 ・樋管整備
今年度の実施状況	・継続実施中（令和3年度）
実施予定	・継続実施

■関東地方整備局高崎河川

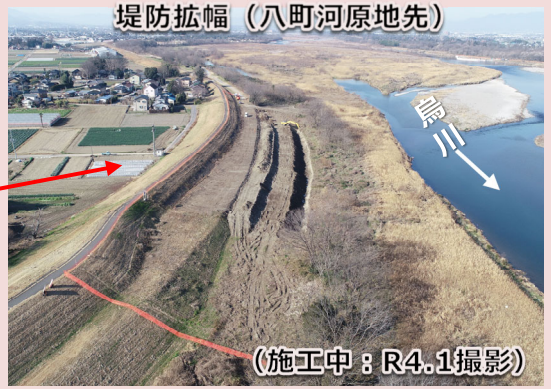
築堤等整備

・根小屋地先他：R3年度末迄の整備進捗率（84%）

・根小屋地先　：一本松橋上流付近築堤
根小屋第３樋管
金井沢川管理橋及び上下流築堤
太夫沢川管理橋及び上下流築堤

その他の整備実施状況

・八町河原地先：堤防拡幅



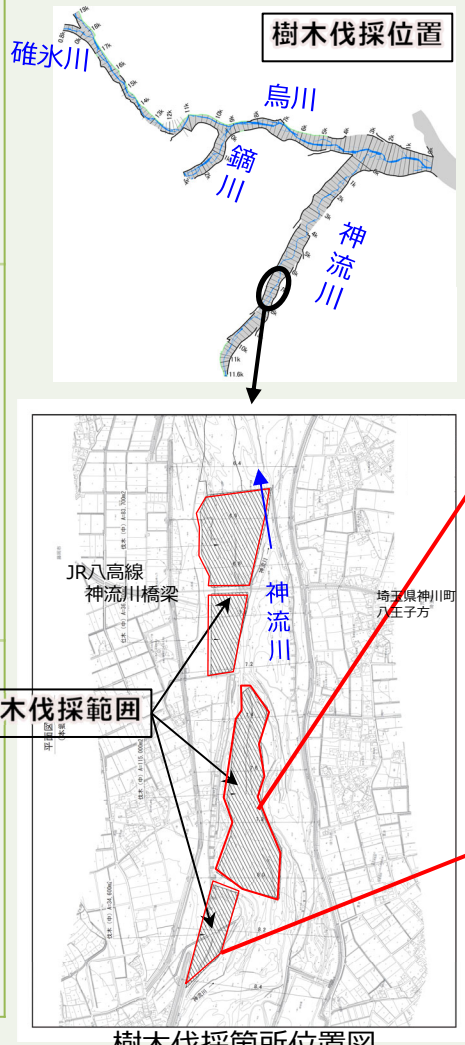
取組番号	3	取組項目名	事前防災等の必要な樹木伐採・河道掘削の実施	取組機関	関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・氾濫の危険エリアの解消のための樹木伐採・河道掘削の実施 ・視認性の確保のための樹木伐採及びそのための河道掘削の実施
今年度の実施状況	・令和3年度は、神流川6.5k~8.5k付近について樹木伐採を実施。
実施予定	・今後も適宜実施

■関東地方整備局高崎河川

氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木の繁茂等に起因した河川の氾濫の危険性を軽減させるために、令和3年度は神流川6.5k~8.5k付近について樹木伐採を実施した



樹木伐採箇所位置図
（神流川6.5~8.5k付近）

取組番号	4	取組項目名	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための施設を必要に応じて整備	取組機関	群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ、異常洪水時の放流警報装置等の追加設置を行う（群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局）
今年度の実施状況	・危機管理型水位計・河川監視カメラの配置計画を作成し、計画的に整備を実施（群馬県） ・追加設置の必要無し。（下久保ダム管理所） ・水位計は追加設置の必要なし。低コストの河川監視カメラを烏川13.4k右岸に再設置済（関東地方整備局）
実施予定	・整備後は情報発信、収集状況の確認のほか、必要に応じて配置計画の見直しを実施予定（群馬県） ・完了（下久保ダム管理所） ・追加及び更新等について必要に応じ対応する

■群馬県

「河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会」の地域部会により危機管理型水位計・河川監視カメラの配置計画を作成し、計画的に整備を実施

危機管理型水位計・河川監視カメラの整備方針（令和3年7月作成）

土木	危機管理型水位計			河川監視カメラ		
	H30~R2	R3	計	H30~R2	R3	計
前橋	28	3	31	20	4	24
渋川	21	14	35	5	3	8
伊勢崎	15	2	17	11	2	13
高崎	43	2	45	11	8	19
安中	12	4	16	2	6	8
藤岡	16	5	21	3	4	7
富岡	21	13	34	12	2	14
中之条	37	8	45	3	7	10
沼田	26	1	27	2	3	5
太田	13	0	13	4	1	5
桐生	23	0	23	4	5	9
館林	28	0	28	12	1	13
整備数計	283	52	335	89	46	135

整備方針の基づき作成した令和3年度配置計画

取組番号	4	取組項目名	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための施設を必要に応じて整備	取組機関	群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

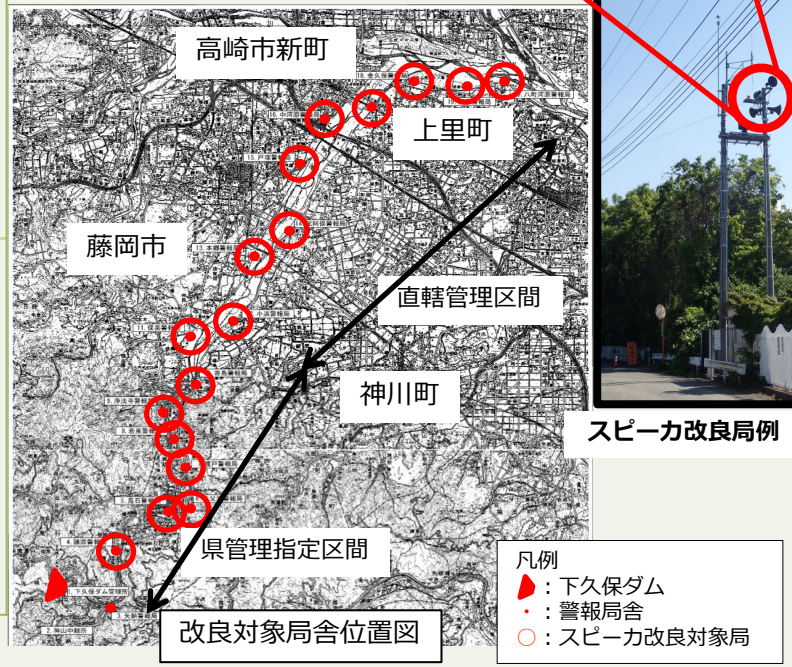
実施内容	・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ、異常洪水時の放流警報装置等の追加設置を行う（群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局）
今年度の実施状況	・危機管理型水位計・河川監視カメラの配置計画を作成し、計画的に整備を実施（群馬県） ・追加設置の必要無し。（下久保ダム管理所） ・水位計は追加設置の必要なし。低コストの河川監視カメラを烏川13.4k右岸に再設置済（関東地方整備局）
実施予定	・整備後は情報発信、収集状況の確認のほか、必要に応じて配置計画の見直しを実施予定（群馬県） ・完了（下久保ダム管理所） ・追加及び更新等について必要に応じ対応する

■下久保ダム管理所
追加設置の必要無し。

・異常洪水時に使用する堤内地向け放流警報設備の増設17箇所：完了
・異常洪水時に使用する緊急効果音・放送内容の追加：完了
・若泉水位局の耐水水位計の設置：完了

異常洪水時に放送する内容は、緊急効果音とメッセージの組み合わせとなります。
基本設定のメッセージは次の通りです。
<基本設定のメッセージ>
「下久保ダムより緊急連絡をします。
これまでに経験のないような異常な洪水が発生しており、川の水位が急上昇します。ただちに命を守る行動をとってください。」

スピーカ改良局例（寄島）



改良対象局舎位置図

若泉水位局

取組番号	4	取組項目名	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための施設を必要に応じて整備	取組機関	群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ、異常洪水時の放流警報装置等の追加設置を行う（群馬県、下久保ダム管理所、関東地方整備局）

今年度の実施状況

・危機管理型水位計・河川監視カメラの配置計画を作成し、計画的に整備を実施（群馬県）

・追加設置の必要無し。（下久保ダム管理所）

・水位計は追加設置の必要なし。低コストの河川監視カメラを烏川13.4k右岸に再設置済（関東地方整備局）

実施予定

・整備後は情報発信、収集状況の確認のほか、必要に応じて配置計画の見直しを実施予定（群馬県）

・完了（下久保ダム管理所）

・追加及び更新等について必要に応じ対応する

■関東地方整備局高崎河川

・危機管理型水位計の追加設置、簡易型河川監視カメラの設置について、令和2年度末までに実施済。

（令和3年度）

- 水位計：追加設置なし
- 河川監視カメラ：災害時に画像・映像によるリアリティーのある災害情報を配信できるよう、機能を限定した低コストの河川監視カメラを烏川13.4k右岸に再設置済

危険箇所簡易水位計等設置位置図

烏川13.4kカメラ画像

設置例（No.6）

No.	河川	重点箇所位置	簡易水位計・危機管理型水位計設置	
1	利根川水系烏川	0.4k左岸　群馬県佐波郡玉村町五料地先	不要	近傍既設観測所（玉村）活用
2	利根川水系烏川	0.8k右岸　埼玉県児玉郡上里町八町河原地先	不要	近傍既設観測所（玉村）活用
3	利根川水系烏川	3.8k左岸　群馬県佐波郡玉村町角淵地先	不要	近傍既設観測所（新町）活用
4	利根川水系烏川	8.0k左岸　群馬県高崎市岩鼻地先	不要	近傍既設観測所（岩鼻）活用
5	利根川水系烏川	9.2k右岸　群馬県藤岡市森新田地先	済	
6	利根川水系烏川	12.0k左岸　群馬県高崎市下佐野町地先	済	No.17へ移設。一本松橋へ新設
7	利根川水系烏川	13.4k右岸　群馬県高崎市寺尾・根小屋町地先	済	
8	利根川水系烏川	14.6k右岸　群馬県高崎市寺尾町地先	済	
9	利根川水系烏川	15.2k左岸　群馬県高崎市和田田中町地先	済	
10	利根川水系烏川	18.8k右岸　群馬県高崎市下豊岡町地先	済	
11	利根川水系鏑川	0.2k右岸　群馬県藤岡市森新田地先	不要	No.5から100mの位置
12	利根川水系鏑川	0.4k左岸　群馬県藤岡市森新田地先	済	
13	利根川水系鏑川	山名観測所　群馬県高崎市山名町地先	不要	山名水位観測所と同位置
14	利根川水系碓氷川	0.0k右岸　群馬県高崎市八千代町地先	済	2箇所兼用の簡易水位計を八千代橋に設置
15	利根川水系碓氷川	0.2k左岸　群馬県高崎市下豊岡町地先		
16	利根川水系神流川	3.4k右岸　埼玉県児玉郡上里町五明地先	済	設置は2.6k右岸
17	利根川水系神流川	7.2k右岸　埼玉県児玉郡神川町肥土地先	済	No.6より機器移設
18	利根川水系神流川	7.4k左岸　群馬県藤岡市本郷地先	済	

上記の他、災害時に画像・映像によるリアリティーのある災害情報を配信できるよう、機能を限定した低コストの河川監視カメラを烏川13.4k右岸に再設置済（R3）。

取組番号	5	取組項目名	堤防等の復旧を効率的に行うための水防拠点や堤防天端上の車両交換場所の整備促進	取組機関	関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・水防拠点、堤防天端上の車両交換場所、側帯等の整備 ・全体計画の再検討 ・水防拠点として、自治体と連携して河川防災ステーション整備
今年度の実施状況	・河川防災関連施設整備の全体計画書の再検討 ・水防拠点としての河川防災ステーションの検討
実施予定	・継続実施

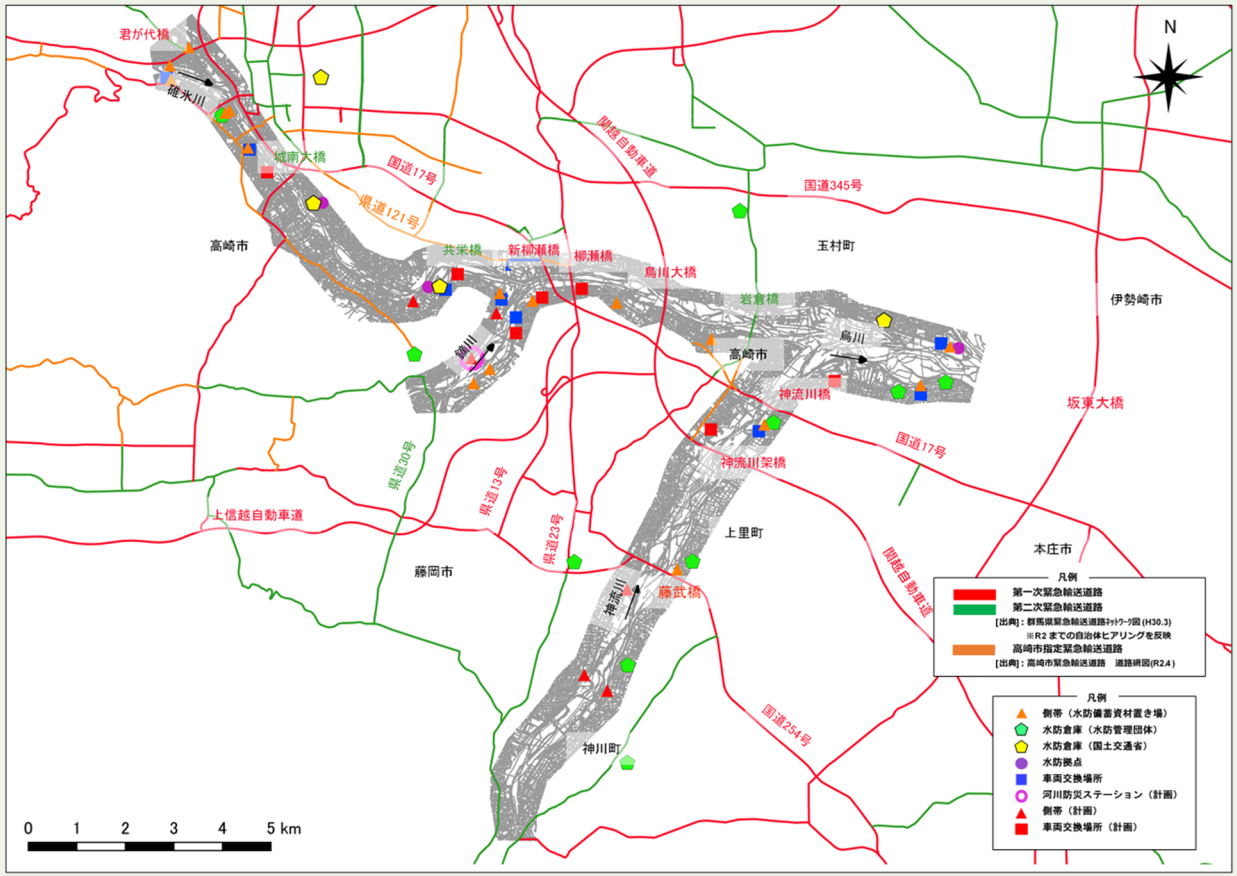
■関東地方整備局高崎河川

管内における大規模災害に対応した防災施設の配置計画案は以下の方針とする。

・復旧活動を短期間で実施するための活動拠点として、河川防災ステーションの整備をする。

・水防活動および応急措置活動のために必要な資材の備蓄施設として側帯を整備する。

・水防資機材運搬車両の方向転換場所及びすれ違い場所となる施設として車両交換場所等を整備する。



防災施設の配置計画位置図（案）

取組番号	6	取組項目名	水防資機材の配備	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・水防倉庫について、水防資機材リストの更新
・水防連絡部会を活用して関係者にリストを共有（以上、高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局）
・水防資機材の定期的な補充・配備（神川町、群馬県）
・水防資機材の配備基準の整備（群馬県）
・水防団による水防資材の作成及び自主防災組織への配布（藤岡市）
・水難救助資材等の整備（高崎市、藤岡市）
・災害対策車両・器機の定期的な点検（関東地方整備局）

今年度の実施状況

・水防倉庫内の資機材の管理及びリスト更新（高崎市、玉村町、神川町、群馬県）
・土のうを作成し、自主防災組織等へ配布（藤岡市）
・排水ポンプ購入（神川町）
・水防資機材の配備基準に着手（群馬県）
・盛り土材や大型土のうに使用する土砂備蓄に着手（群馬県）
・令和３年度埼玉県水防計画に県水防倉庫の水防資器材配置図を掲載（埼玉県）
・災害対策車両・器機の定期的な点検済（関東地方整備局）

実施予定

・継続実施

■高崎市
高崎市水防計画（2021年3月）
水防倉庫及び備蓄資材リスト

資料１１ 水防倉庫及び備蓄資材機材

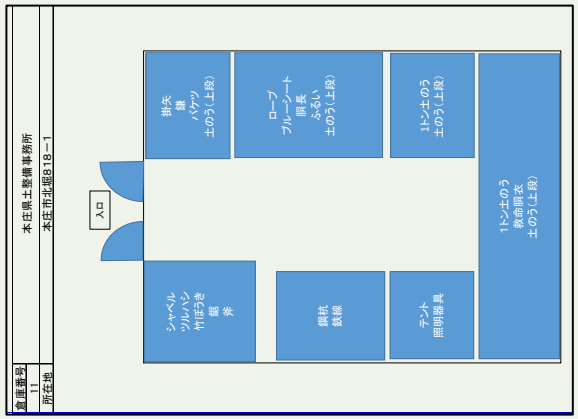
管理者	消防局			支所					合計
品名 ＼ 所在地	八千代町	山名町	倉渕町	倉渕町	箕郷町	新町	下仁田町	吉井町	
鎌	10	40	65	10	3	28	5		161
鍬	10	10	4	4	4	4	2	1	39
ナタ	5	16	40	5	2	6	2	2	78
スコップ	20	31	70	6	4	46	30	31	238
ツルハシ		9	30	7	2	11	1		60
唐ぐわ		16	15	2	2	2			37
掛矢	5	10	45	3	1	8	2	13	87
斤	4	7	4		1	9	1		26
ハンマー	4	6	13	1	2	10	1	1	40
カッター	3	5	3	4		18			33
ペンチ	2	6	3	2	1	8	2	2	26
木杭	0	224	200	20		180		100	724
鉄杭	70		60			180			310
ロープ	10	35	25					5	75
照明具			2	7	2	2	1		14
土のう袋	2,000	2,500	1,000	1,000	200	8,000	2,500	2,000	19,200
鉄線	1	5	24	5	1	150		5	191
角材		20				58			78
コンパネ	5	25	30			3			63
チェンソー	1	1	2			3			7
カスガイ			100						100
一輪車	3	3	5			6	1	20	38
シート	20	6	3				50	30	109

■玉村町
・排水ポンプ用電源盤の設置（令和3年10月）
・土のう袋購入（令和4年3月）

■神川町
・排水ポンプ購入（令和3年6月）

■藤岡市
・水防団による水防工法訓練（４月２５日）
・作成した土のうは、自主防災組織と連携し、地域に配布する等に活用

■埼玉県
水防資器材配置図〔令和３年埼玉県水防計画〕



■上里町
水防倉庫内の資機材の管理及びリスト更新（R3.12）
・神流川水害予防組合（長浜）
・坂東上流水害予防組合（忍保）
配備内容
　鋸、掛矢、スコップ、つるはし、斧、鎌、縄、丸太杭、鉄線、麻袋、土のう袋、照明具　等

水防倉庫（長浜）

	資機材	数量	備考
1		1	
2	掛矢	2	
3	シャベル	9	
4	照明具（懐中電灯）	3	
5	運搬具（一輪車）	2	
6	鍬・ツルハシ	2	
7	斧	2	
8	鎌	4	
9	縄	70kg	
10	麻袋	50枚	
11	丸太材（杭）	40本	
12	鉄線	50kg	
13	土のう袋（フルコン）	50枚	
14	ハツリ	2	
15	救命胴	1	
16	ペンチ	1	
17	ロープ	200m	
18	釘	2箱	
19			
20			

水防倉庫（長浜）
資機材リスト

水防倉庫（忍保）

	資機材	数量	備考
1	シャベル	5	
2	鍬・ツルハシ	1	
3	木材（杭）	30本	
4	鋼鉄（フルコン）	250枚	
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

水防倉庫（忍保）
資機材リスト

取組番号	6	取組項目名	水防資機材の配備	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・水防倉庫について、水防資機材リストの更新 ・水防連絡部会を活用して関係者にリストを共有（以上、高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局） ・水防資機材の定期的な補充・配備（神川町、群馬県） ・水防資機材の配備基準の整備（群馬県） ・水防団による水防資材の作成及び自主防災組織への配布（藤岡市） ・水難救助資材等の整備（高崎市、藤岡市） ・災害対策車両・器機の定期的な点検（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・水防倉庫内の資機材の管理及びリスト更新（高崎市、玉村町、神川町、群馬県） ・土のうを作成し、自主防災組織等へ配布（藤岡市） ・排水ポンプ購入（神川町） ・水防資機材の配備基準に着手（群馬県） ・盛り土材や大型土のうに使用する土砂備蓄に着手（群馬県） ・令和３年度埼玉県水防計画に県水防倉庫の水防資器材配置図を掲載（埼玉県） ・災害対策車両・器機の定期的な点検済（関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■群馬県

◆水防資機材の備蓄計画

○各水防倉庫において水防資機材の備蓄を行っているが、備蓄計画が明確に定まっていないため、大規模水害時に水防資機材が不足する恐れがある。
そのため、配備基準を定め、備蓄計画を策定する。

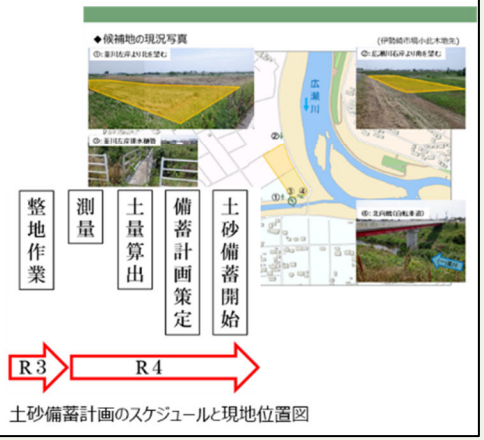
＜地域部会＞
・水防資機材の備蓄量を把握する。
・群馬県水防計画に掲載されている重要水防箇所の内、水防活動を行う可能性が高い箇所の優先順位を設ける。【資料３】
・優先順位の高い重要水防箇所における水防工法を参考図書等から設定し、備蓄量を算出、備蓄計画を策定する。
＜河川課＞
・必要分の購入予算を確保する。

参考図書：
水防工法ハンドブック((社)建設工法協会)

◆土砂備蓄計画の進捗状状況

○応急復旧資材（盛土材・土のう中詰め材）として土砂備蓄の必要がある地域部会においては箇所選定を進める。

○伊勢崎土木事務所(境小此木地内)では、県土地改良事業と協調し、ストックヤード造成を進めている。
○R3年度末までに受け入れ地の整地が完了する見込み。
R4年度に現地測量、受け入れ可能な備蓄土量算出、土砂備蓄計画を策定する。
※建設残土の受け入れ開始見込はR4年度中。



土砂備蓄計画のスケジュールと現地位置図

令和3年2回地域部会資料（11月下旬開催）

■関東地方整備局高崎河川

・水防資器機材台帳の点検
・災害対策車両・器機の定期的な点検済
・職員等への訓練・教育を実施済
・水防連絡部会を活用して関係者に水防資機材保管リストを共有済

取組番号	7	取組項目名	市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実	取組機関	藤岡市、JR東日本高崎支社、上信電鉄

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・避難所等なる公共施設7施設に太陽光発電及び蓄電池を導入（藤岡市） ・高崎支社管内の駅を災害時対応できるよう機能強化（JR東日本高崎支社） ・駅舎や電力供給施設の耐水化、非常用発電等の整備（上信電鉄） ・根小屋駅の避難場所の変更を検討する（上信電鉄）
今年度の実施状況	・指定避難所及び自主避難所に指定されている施設を対象に災害時の停電対策として、太陽光発電及び蓄電池を導入（藤岡市）
実施予定	・令和4年度に日野公民館と美九里公民館に太陽光発電及び蓄電池を導入予定（藤岡市）

■藤岡市

指定避難所及び自主避難所に指定されている西中、第二小、日野小、総合学習センター、藤岡公民館、美土里公民館、神流公民館に災害時の停電対策として、太陽光発電及び蓄電池を導入

取組番号	8	取組項目名	樋管の操作不要な無動力ゲートの導入による確実な運用体制の確保	取組機関	関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・既存排水樋管の無動力ゲート化の整備（フラップゲート化）
今年度の実施状況	・岩鼻樋管、薬師堂樋管：令和3年度未までに無動力ゲート化の整備済
実施予定	・阿久津樋管へのフラップゲート（ﾊﾞﾗﾝｽｳｪｲﾄ式ﾌﾗｯﾌﾟｹﾞｰﾄ）の導入(令和4年度実施予定)

■関東地方整備局高崎河川

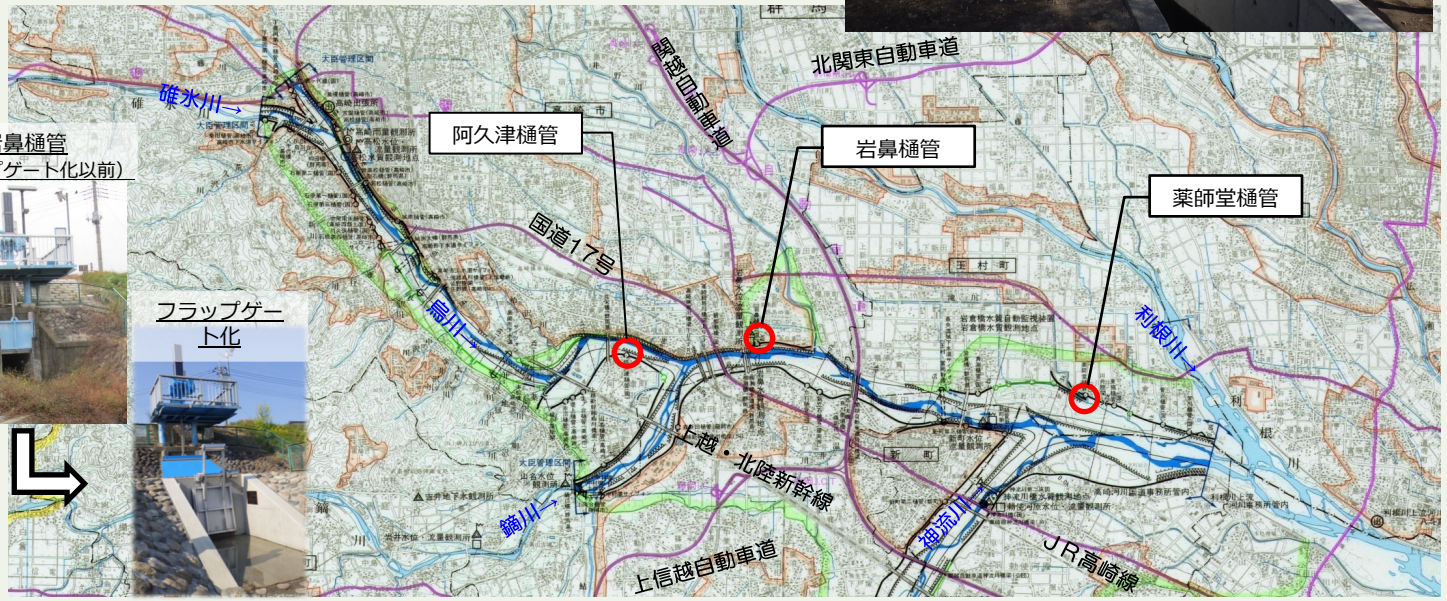
確実な操作（操作遅れや操作員不足への対応）、維持管理コスト縮減のため、操作不要な無動力ゲートの導入を試行している。

以下の各樋管ゲートにフラップゲート（バランスウェイト式フラップゲート）を導入する。

・岩鼻樋管、薬師堂樋管：令和3年度未までに実施済
・阿久津樋管について、令和4年度実施予定

岩鼻樋管
（フラップゲート化以前）

フラップゲート化



取組番号	9	取組項目名	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・防災行政無線、エリアメール、防災メール、HP、電話、広報車、TV・ラジオ等報道機関への依頼、コミュニティFMによる情報提供
・Twitter、Facebook等SNSを用いたリアルタイムでの情報発信
・高齢者等情報弱者と呼ばれる市民へのプッシュ型情報発信の研究・検討（高崎市、玉村町）
・登録制メールへの登録をＰＲ（玉村町）
・防災操作開始時等の関係機関等へ通知（下久保ダム管理所）
・情報提供については、広報を通じ各種メディアにスピーディな情報配信に努める、ホームページによる情報発信（JR東日本高崎支社）

今年度の実施状況

・災害時電話FAXサービス（高崎市）
・防災メールの発信（藤岡市）
・固定電話などへ自動音声メッセージで防災情報を発信（藤岡市、玉村町）
・HPによる情報発信（群馬県、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）
・台風説明会の実施（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
・広報を通じたメディア発信、駅頭表示（JR東日本高崎支社）

実施予定

・情報発信を継続実施（各機関）
・R4年度定期的配信テストを実施予定（高崎市）
・出水期にむけて登録者を増やす（高崎市）

■高崎市

・災害時電話FAXサービス

災害時の避難情報や避難所の開設状況などを配信

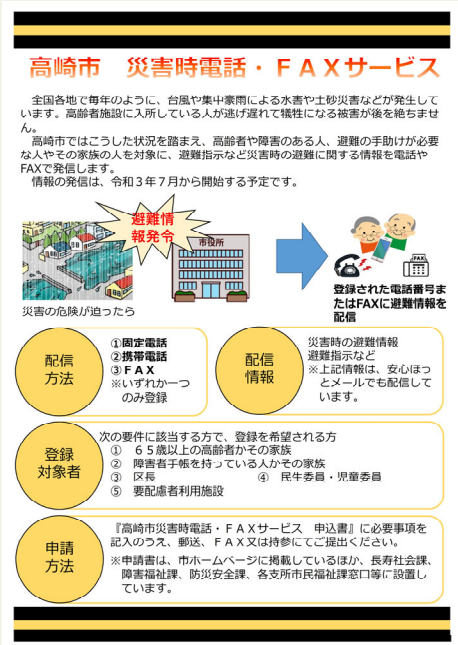
対象者
・65歳以上の高齢者かその家族
・障害者手帳のいずれかを持っている人かその家族
・区長
・民生委員
・要配慮者利用施設

配信方法
・固定電話
・携帯電話
・FAX
上記のうち1つのみ登録

・R3.7月より運用開始

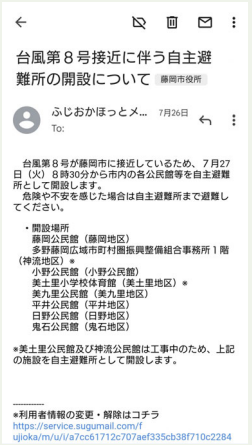
・出水期に２回実績有

・７月から配信テストを毎月末の月曜日に実施（計４回）
・R4年度も定期的に配信テストを実施予定



■藤岡市

・ふじおかほっとメールの発信


台風第８号接近に伴う自主避難所の開設について　藤岡市役所

ふじおかほっとメ…　7月26日
To:

台風第８号が藤岡市に接近しているため、７月27日（火）８時30分から市内の各公民館等を自主避難所として開設します。
危険や不安を感じた場合は自主避難所まで避難してください。

・開設場所
藤岡公民館（藤岡地区）
多野藤岡広域市町村圏振興整備組合事務所１階（神流地区）＊
小野公民館（小野公民館）
美土里小学校体育館（美土里地区）＊
美九里公民館（美九里地区）
平井公民館（平井地区）
日野公民館（日野地区）
鬼石公民館（鬼石地区）

＊美土里公民館及び神流公民館は工事中のため、上記の施設を自主避難所として開設します。

＊利用者情報の変更・解除はコチラ
https://service.sugumail.com/fujioka/m/u/i/a7cc61712c707aef335cb38f710c2284

・防災ふじおかVoiceの普及推進

固定電話などのダイヤルへ自動音声メッセージを発信する取組。
自主防災組織のリーダー・民生委員・児童委員に登録してもらうことで地域の共助促進も図った。

「Ｒ３年度　運用実績」
台風の接近に伴う、自主避難所の開設情報等を発信した。

①７月２６日　台風８号接近時
・土のうの配布
・自主避難所の開設・閉鎖
②９月１７日　台風１４号接近時
・自主避難所の開設・閉鎖

取組番号	9	取組項目名	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・防災行政無線、エリアメール、防災メール、HP、電話、広報車、TV・ラジオ等報道機関への依頼、コミュニティFMによる情報提供 ・Twitter、Facebook等SNSを用いたリアルタイムでの情報発信 ・高齢者等情報弱者と呼ばれる市民へのプッシュ型情報発信の研究・検討（高崎市、玉村町） ・登録制メールへの登録をＰＲ（玉村町） ・防災操作開始時等の関係機関等へ通知（下久保ダム管理所） ・情報提供については、広報を通じ各種メディアにスピーディな情報配信に努める、ホームページによる情報発信（JR東日本高崎支社）
今年度の実施状況	・災害時電話FAXサービス（高崎市） ・防災メールの発信（藤岡市） ・固定電話などへ自動音声メッセージで防災情報を発信（藤岡市、玉村町） ・HPによる情報発信（群馬県、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局） ・台風説明会の実施（前橋地方気象台、熊谷地方気象台） ・広報を通じたメディア発信、駅頭表示（JR東日本高崎支社）
実施予定	・情報発信を継続実施（各機関） ・R4年度定期的配信テストを実施予定（高崎市） ・出水期にむけて登録者を増やす（高崎市）

■玉村町

・固定電話や携帯電話へ災害情報を一斉伝達するシステム「災害情報一斉伝達・収集システム（通称：たまボイス）」を導入し、募集を広報、ホームページに掲載し、民生委員に登録促進を依頼した。
１１月現在の登録者数は290世帯

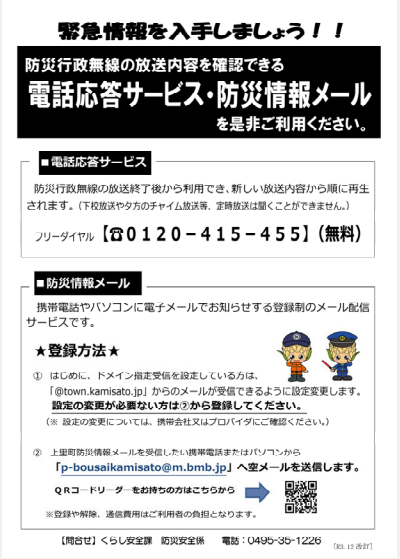
「たまボイス」
■運用イメージ

■神川町

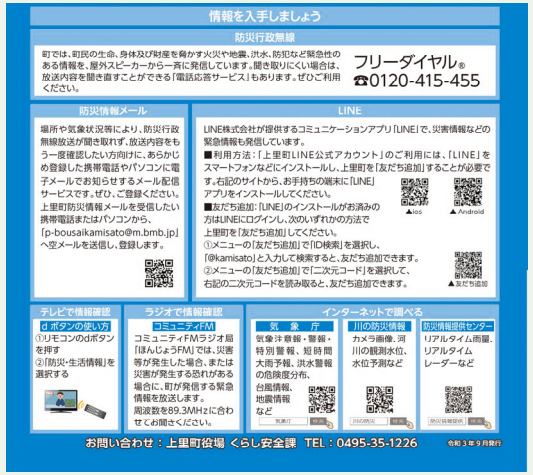
・リアルタイムの情報提供
・プッシュ型情報配信の継続

■上里町

・防災行政無線（屋外拡声子局）による一斉放送
・防災情報メール（登録制メール）による情報発信
・電話応答サービス
・町ホームページ
・フェイスブック
・広報車による放送
・コミュニティFM放送
・大手通信会社によるエリアメールでの発信
・テレビ埼玉によるデータ放送


緊急情報を入手しましょう！！
防災行政無線の放送内容を確認できる
電話応答サービス・防災情報メール
を是非ご利用ください。
■電話応答サービス
防災行政無線の放送終了後から利用でき、新しい放送内容から順に再生されます。（下校放送や方向のチャイム放送等、定時放送は聞くことができません。）
フリーダイヤル【☎0120－415－455】（無料）
■防災情報メール
携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせする登録制のメール配信サービスです。
★登録方法★
① はじめに、ドメイン指定受信を設定している方は、「@town.kamisato.jp」からのメールが受信できるように設定変更します。
設定の変更が必要ない方は②から登録してください。
（※ 設定の変更については、携帯会社又はプロバイダにご確認ください。）
② 上里町防災情報メールを受信したい携帯電話またはパソコンから
「p-bousaikamisato@m.bmb.jp」へ空メールを送信します。
QRコードリーダーをお持ちの方はこちらから
※登録や解除、通信費用はご利用者の負担となります。
【問合せ】くらし安全課 防災安全係 電話：0495-35-1226

電話応答サービス・防災情報メールの周知・啓発チラシ（上里町）



防災ガイド・ハザードマップに掲載した情報入手手段（上里町）

取組番号	9	取組項目名	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、 下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、 JR東日本高崎支社、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・防災行政無線、エリアメール、防災メール、HP、電話、広報車、TV・ラジオ等報道機関への依頼、コミュニティFMによる情報提供
・Twitter、Facebook等SNSを用いたリアルタイムでの情報発信
・高齢者等情報弱者と呼ばれる市民へのプッシュ型情報発信の研究・検討（高崎市、玉村町）
・登録制メールへの登録をＰＲ（玉村町）
・防災操作開始時等の関係機関等へ通知（下久保ダム管理所）
・情報提供については、広報を通じ各種メディアにスピーディな情報配信に努める、ホームページによる情報発信（JR東日本高崎支社）

今年度の実施状況

・災害時電話FAXサービス（高崎市）
・防災メールの発信（藤岡市）
・固定電話などへ自動音声メッセージで防災情報を発信（藤岡市、玉村町）
・HPによる情報発信（群馬県、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）
・台風説明会の実施（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
・広報を通じたメディア発信、駅頭表示（JR東日本高崎支社）

実施予定

・情報発信を継続実施（各機関）

・R4年度定期的配信テストを実施予定（高崎市）
・出水期にむけて登録者を増やす（高崎市）

■群馬県

台風の接近について注意喚起を実施

（１）群馬県ホームページの緊急情報に注意喚起を促す情報を表示し、さらに特設ページを作成し、支援制度や被害状況等の情報を提供する。
（例　台風第１９号における県ＨＰと特設ページ）

（２）総合防災情報システムへ市町村等各機関により入力される避難情報や避難所開設情報、気象情報等を、防災ポータルサイト、群馬県防災ツイッターにてリアルタイムで発信し、情報を提供する。また、Ｌアラートにて報道機関等情報伝達者へ即時情報提供を行っている。

（３）特別に注意喚起を行いたい事項がある場合は、手動にて群馬県防災ツイッター、群馬県公式ライン「群馬県デジタル窓口」、Yahoo!防災速報アプリ等にて発信。

群馬県防災ポータルサイトによる情報提供

群馬県ＨＰによる注意喚起

台風第１９号特設ページ

群馬県防災ツイッターによる情報提供

取組番号	9	取組項目名	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、 下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、 JR東日本高崎支社、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

- 防災行政無線、エリアメール、防災メール、HP、電話、広報車、TV・ラジオ等報道機関への依頼、コミュニティFMによる情報提供
- Twitter、Facebook等SNSを用いたリアルタイムでの情報発信
- 高齢者等情報弱者と呼ばれる市民へのプッシュ型情報発信の研究・検討（高崎市、玉村町）
- 登録制メールへの登録をＰＲ（玉村町）
- 防災操作開始時等の関係機関等へ通知（下久保ダム管理所）
- 情報提供については、広報を通じ各種メディアにスピーディな情報配信に努める、ホームページによる情報発信（JR東日本高崎支社）

今年度の実施状況

- 災害時電話FAXサービス（高崎市）
- 防災メールの発信（藤岡市）
- 固定電話などへ自動音声メッセージで防災情報を発信（藤岡市、玉村町）
- HPによる情報発信（群馬県、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）
- 台風説明会の実施（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
- 広報を通じたメディア発信、駅頭表示（JR東日本高崎支社）

実施予定

- 情報発信を継続実施（各機関）
- R4年度定期的配信テストを実施予定（高崎市）
- 出水期にむけて登録者を増やす（高崎市）

■下久保ダム管理所

令和3年度の実施状況

- 5/11～12：洪水対応演習
- 7/24：台風8号
- 8/7：台風10号
- 8/15：前線
- 9/16：台風14号
- 9/27:台風16号

1．下久保ダム諸量の情報提供

下久保ダムでは、ホームページにて貯水位、雨量、流入量、放流量等の情報を提供している。また、洪水時には、洪水量に達した時から3時間毎、異常洪水時防災操作前、最大放流量時等に右図のようなリアルタイム公表を掲示する。

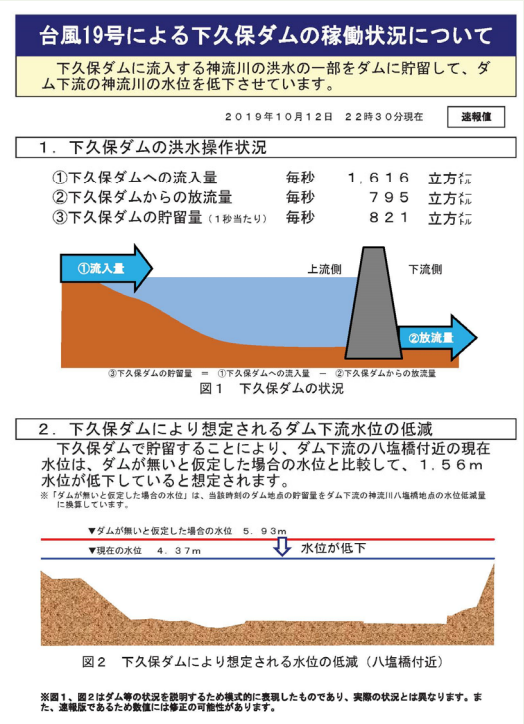
※：なお、提供する情報は速報値のため、公表値が後で修正されることがある。

下久保ダムHP　http://dum.shimokubo.com/damdata_top.php

2．川の防災情報（国土交通省）

国土交通省においてインターネットを通じて「川の防災情報」として全国の河川・ダムの「雨量」「水位」「河川予警報（ダムの放流通知含む）」等の情報がリアルタイムで提供される。

「川の防災情報」　パソコンから　http//www.river.go.jp/
スマートフォンから　http//www.river.go.jp/s/



リアルタイム公表の例

下流巡視

情報表示板

取組番号	9	取組項目名	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、 下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、 JR東日本高崎支社、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・防災行政無線、エリアメール、防災メール、HP、電話、広報車、TV・ラジオ等報道機関への依頼、コミュニティFMによる情報提供
・Twitter、Facebook等SNSを用いたリアルタイムでの情報発信
・高齢者等情報弱者と呼ばれる市民へのプッシュ型情報発信の研究・検討（高崎市、玉村町）
・登録制メールへの登録をＰＲ（玉村町）
・防災操作開始時等の関係機関等へ通知（下久保ダム管理所）
・情報提供については、広報を通じ各種メディアにスピーディな情報配信に努める、ホームページによる情報発信（JR東日本高崎支社）

今年度の実施状況

・災害時電話FAXサービス（高崎市）
・防災メールの発信（藤岡市）
・固定電話などへ自動音声メッセージで防災情報を発信（藤岡市、玉村町）
・HPによる情報発信（群馬県、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）
・台風説明会の実施（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
・広報を通じたメディア発信、駅頭表示（JR東日本高崎支社）

実施予定

・情報発信を継続実施（各機関）

・R4年度定期的配信テストを実施予定（高崎市）
・出水期にむけて登録者を増やす（高崎市）

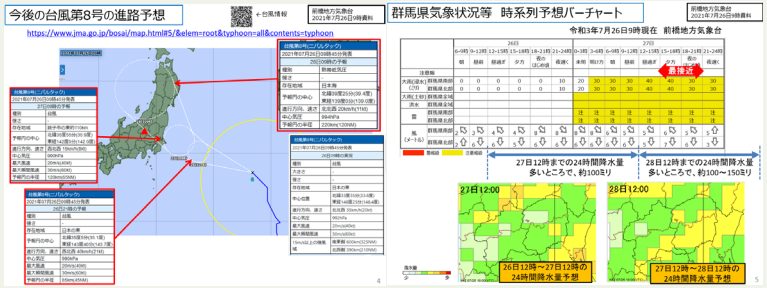
■前橋地方気象台

・気象庁HPにて、リアルタイムの情報（洪水警報の危険度分布情報など）を常時提供している。

・気象庁HP、防災情報提供システム（インターネット）、報道機関を通じて、プッシュ型の情報（指定河川洪水予報、防災気象情報など）を随時配信している。

・台風説明会を３回実施した（7月26日、8月6日、9月17日）

台風第8号に関する説明会（令和3年7月26日）



台風第8号に関する説明会資料（一部抜粋）

■熊谷地方気象台

令和3年度台風説明会は、計4回実施しました。
　台風第　8号　7月26日
　台風第10号　8月6日
　台風第14号　9月16日
　台風第16号　9月29日

・県・自治体・報道機関等にZoomを使ったweb形式で開催
・資料を熊谷地方気象台HPに掲載
・リアルタイムで参加できなかった機関向けにYouTubeに説明動画を限定公開

台風説明会（熊谷地方気象台）

台風説明会資料（一部抜粋）

取組番号	9	取組項目名	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、 下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、 JR東日本高崎支社、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・防災行政無線、エリアメール、防災メール、HP、電話、広報車、TV・ラジオ等報道機関への依頼、コミュニティFMによる情報提供
・Twitter、Facebook等SNSを用いたリアルタイムでの情報発信
・高齢者等情報弱者と呼ばれる市民へのプッシュ型情報発信の研究・検討（高崎市、玉村町）
・登録制メールへの登録をＰＲ（玉村町）
・防災操作開始時等の関係機関等へ通知（下久保ダム管理所）
・情報提供については、広報を通じ各種メディアにスピーディな情報配信に努める、ホームページによる情報発信（JR東日本高崎支社）

今年度の実施状況

・災害時電話FAXサービス（高崎市）
・防災メールの発信（藤岡市）
・固定電話などへ自動音声メッセージで防災情報を発信（藤岡市、玉村町）
・HPによる情報発信（群馬県、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）
・台風説明会の実施（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
・広報を通じたメディア発信、駅頭表示（JR東日本高崎支社）

実施予定

・情報発信を継続実施（各機関）

・R4年度定期的配信テストを実施予定（高崎市）
・出水期にむけて登録者を増やす（高崎市）

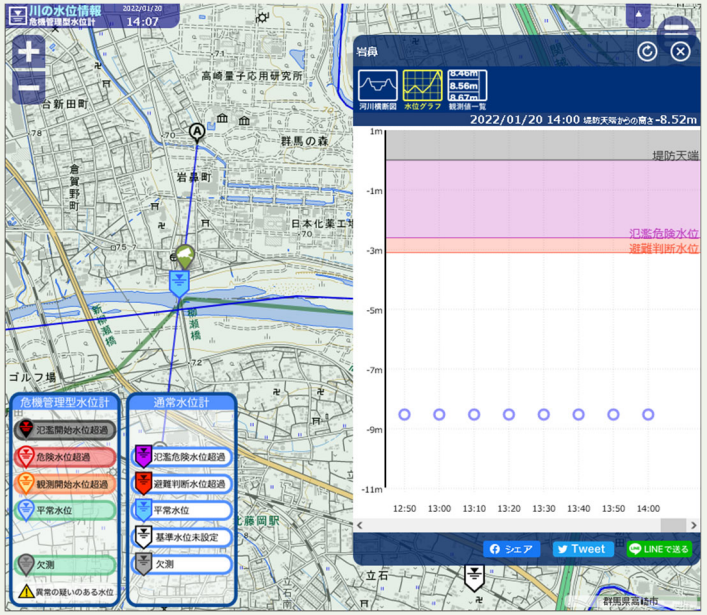
■JR東日本高崎支社

- 広報を通じたメディア発信、駅頭表示

■関東地方整備局高崎河川

- 「川の水位情報」等のHPによる情報提供
- 「川の防災情報」HPにおいて、身近な地点の情報に簡単にアクセスできるなど大雨時に必要となる川の情報をより分かりやすく、見つけやすく提供するために、令和３年３月にHPの全面リニューアルを行った。

「川の水位情報」HPによる河川水位の表示例



出典）　川の水位情報HP（岩鼻観測所）
<https://k.river.go.jp/>

「川の防災情報」HP表示画面

出典）　川の防災情報HP<https://www.river.go.jp/kawabou/>

取組番号	10	取組項目名	【重点】 情報伝達手段の多重化（コミュニティFM放送の整備、防災ラジオの配布、SNS配信など）	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、 JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・twitter等のSNSを活用した水防災に関する情報提供を実施 ・洪水時にもtwitter、HP等による河川情報等の提供を実施（以上、各機関）
今年度の実施状況	・twitter等のSNSを活用した水防災に関する情報提供を実施 ・洪水時におけるtwitter、HP等による河川情報等の提供（関東地方整備局、高崎市、藤岡市、神川町、上里町、群馬県、JR東日本高崎支社、上信電鉄） ・希望する方へ戸別受信機を配布（神川町）
実施予定	・継続実施

■各機関

- twitter等のSNSを活用した水防災に関する情報提供を実施
- 洪水時におけるtwitter、HP等による河川情報等の提供

■個別の取組状況

✓ **高崎市、藤岡市、神川町、上里町、群馬県、関東地方整備局高崎河川**
twitterやLine等のSNSやHPを活用した水防災に関する情報提供を実施中。玉村町ではInstagramを開設。

✓ **玉村町**
固定電話や携帯電話へ災害情報を一斉伝達するシステム「災害情報一斉伝達・収集システム（通称：たまボイス）」により、情報提供を実施中。

✓ **群馬県**
Lアラートの導入により、市町村等から発信された情報を、様々なメディアに迅速に提供を実施中。

✓ **玉村町、上里町**　ラジオを活用した情報提供を実施中。

✓ **藤岡市**　令和３年１２月、災害情報をより分かり易く発信するため、ホームページをリニューアルした。

✓ **神川町**　希望する方へ戸別受信機を配布している。

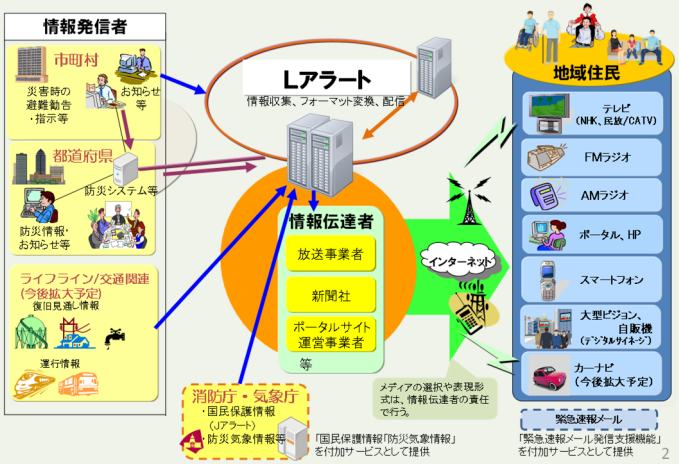
✓ **JR東日本高崎支社**
本社ホームページにタイムリーに情報配信（高崎支社HPは本社HPに統合）

✓ **上信電鉄**　事故や災害発生時にはホームページや社線電話により情報提供している。

■高崎市
情報入手方法

■藤岡市
リニューアルされたHP

■群馬県
Lアラートによる情報提供イメージ



取組番号	11	取組項目名	ライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、上信電鉄、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・河川のライブカメラ等の関連情報を市ホームページにて提供（高崎市、藤岡市） ・町で設置したライブカメラと国・県が利根川・烏川等に設置しているライブカメラの画像を町HPで公開（玉村町） ・ライブカメラ等の設置の予定は無いが、国土交通省による設置済みカメラ等の情報を活用して情報提供する（上里町） ・水位、雨量、河川監視カメラ画像等を一般公開（群馬県水位雨量情報システム） ・リアルタイム水害リスク情報システムを活用した情報提供（群馬県） ・避難する際の住民および沿川自治体（水防管理者）・河川管理者との有効的な情報提供と共有体制の構築（上信電鉄） ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供、必要に応じて提供箇所の追加（関東地方整備局） ・システム処理能力向上を図る（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・リアルタイムカメラの情報を集約したHPを作成（玉村町） ・河川のライブカメラ等の関連情報を市のHPにて提供（高崎市・藤岡市） ・台風や大雨等の際は、国土交通省や埼玉県による設置済みのライブカメラ等の情報を活用し河川水位の状況把握と関係部署との情報共有に努めている。（上里町） ・災害や事故等の発生時に関係自治体に運行情報等をFAXにて提供（上信電鉄） ・河川監視カメラ画像等を一般公開（群馬県水位雨量情報システム） ・「リアルタイム水害リスク情報システム」の試行運用を実施（群馬県） ・動画対応の河川監視カメラを県内16箇所に設置し、群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」で一般向け配信を実施（令和3年7月～10月　群馬県） ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供（関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■玉村町

リアルタイムカメラの情報を集約し町のHPで公開
http //town-tamamura-river.jp/public/

■上里町

防災ガイド・ハザードマップ「川の防災情報」を掲載

■高崎市・藤岡市

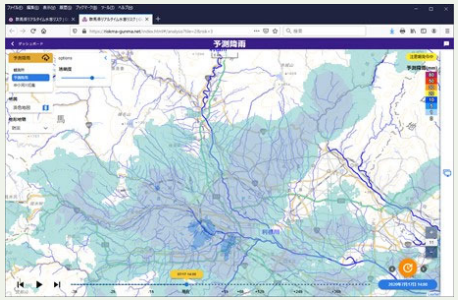
河川のライブカメラ等の関連情報を市ホームページにて提供

■上信電鉄

災害や事故等が発生した場合、関係自治体に運行情報等をFAXにて提供している。

■群馬県

群馬県水位雨量情報システム
水位・雨量・河川監視カメラ画像、ダム諸量等を公開



リアルタイム水害リスク情報システム
・県内の水位・雨量・カメラ・ダム情報を一元化
・36時間先までの降雨・水位を予測
・6時間先までの浸水エリアを予測

※各機関が設置している水位計、雨量計、河川監視カメラの情報を一元化して表示。試行運用を実施。

群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」
16基の動画対応カメラを一般公開（令和3年7月～10月）

取組番号	11	取組項目名	ライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、上信電鉄、関東地方整備局

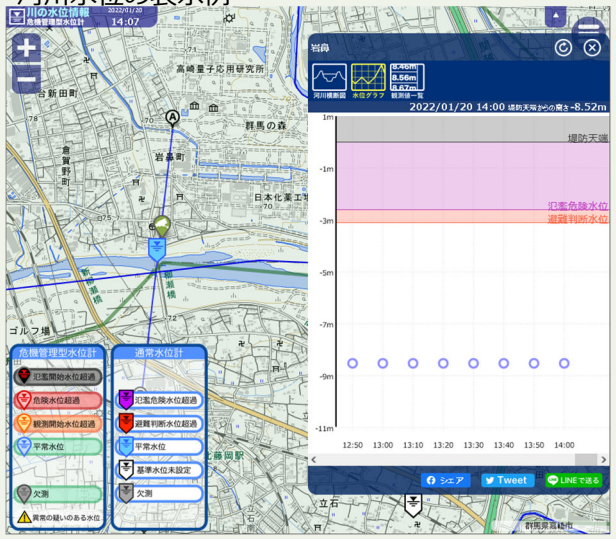
取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・河川のライブカメラ等の関連情報を市ホームページにて提供（高崎市、藤岡市） ・町で設置したライブカメラと国・県が利根川・烏川等に設置しているライブカメラの画像を町HPで公開（玉村町） ・ライブカメラ等の設置の予定は無いが、国土交通省による設置済みカメラ等の情報を活用して情報提供する（上里町） ・水位、雨量、河川監視カメラ画像等を一般公開（群馬県水位雨量情報システム） ・リアルタイム水害リスク情報システムを活用した情報提供（群馬県） ・避難する際の住民および沿川自治体（水防管理者）・河川管理者との有効的な情報提供と共有体制の構築（上信電鉄） ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供、必要に応じて提供箇所の追加（関東地方整備局） ・システム処理能力向上を図る（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・リアルタイムカメラの情報を集約したHPを作成（玉村町） ・河川のライブカメラ等の関連情報を市のHPにて提供（高崎市・藤岡市） ・台風や大雨等の際は、国土交通省や埼玉県による設置済みのライブカメラ等の情報を活用し河川水位の状況把握と関係部署との情報共有に努めている。（上里町） ・災害や事故等の発生時に関係自治体に運行情報等をFAXにて提供（上信電鉄） ・河川監視カメラ画像等を一般公開（群馬県水位雨量情報システム） ・「リアルタイム水害リスク情報システム」の試行運用を実施（群馬県） ・動画対応の河川監視カメラを県内16箇所に設置し、群馬県公式YouTubeチャンネル「tsulunos」で一般向け配信を実施（令和3年7月～10月　群馬県） ・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供（関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■関東地方整備局高崎河川

- 水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供を実施している。
- 「川の防災情報」HPにおいて、身近な地点の情報に簡単にアクセスできるなど大雨時に必要となる川の情報をより分かりやすく、見つけやすく提供するために、令和３年３月にHPの全面リニューアルを行った。

「川の水位情報」HP
河川水位の表示例



出典）　川の水位情報HP（岩鼻観測所）
<https://k.river.go.jp/>

「川の防災情報」HP
河川カメラの表示例

出典）　川の防災情報HP（岩鼻観測所）
<https://www.river.go.jp/kawabou/>

取組番号	12	取組項目名	【重点】 避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）の関連機関との連携状況や訓練の実施等を踏まえた精度向上	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・伝達内容・手段（電話、メール、Web会議等）、タイミングなどの関係機関との連携強化のための意見交換及び訓練の実施（各機関） ・市町のタイムラインの精度向上に対する支援（前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局） ・計画運休の深度化（JR東日本高崎支社） ・復旧のための早期運転再開の判断の検討（JR東日本高崎支社） ・タイムラインの実行性確認、タイムラインの実運用（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・関係機関との意見交換会（烏川・神流川流域におけるタイムライン意見交換会）を実施（各機関） ・図上訓練等　訓練の実施（藤岡市） ・下久保ダム・神水ダム防災操作説明会（下久保ダム管理所） ・タイムラインの見直し（玉村町、神川町） ・自治体からのタイムラインや避難情報の判断基準の見直しの照会の際、必要に応じて大雨警報（土砂災害）及び洪水警報の危険度分布（キキクル）等の利活用を促進した（熊谷地方気象台） ・本社ホームページにタイムリーに情報配信（JR東日本高崎支社）
実施予定	・継続実施

■関東地方整備局高崎河川、各市町・関係機関

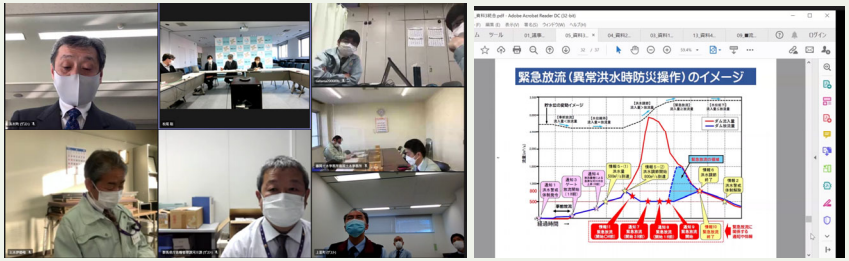
烏川・神流川流域におけるタイムライン意見交換会を実施。

令和3年度第2回烏川・神流川流域におけるタイムライン意見交換会の概要

第1回 令和３年12月1日（水）　Web会議
第2回 令和４年1月14日（金）　Web会議
第3回 令和４年3月　9日（水）　Web会議

《参加機関》
高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、気象庁 前橋地方気象台・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局高崎河川国道事務所

《テーマ》
・情報共有方法・タイミング・内容
・ダム操作を踏まえたタイムライン
・水防・排水活動に関する連携



令和3年度第2回烏川・神流川流域における
タイムライン意見交換会の開催状況

■藤岡市

タイムラインの実行性等の確認のため、河川氾濫を想定した図上訓練を実施。

藤岡市図上訓練の実施状況（R３.８.２７）

■下久保ダム管理所

洪水対応演習（ 5月11～12日 ）や下久保ダム・神水ダム防災操作説明会（ 6月22日 ）を実施。

下久保ダム管理所　防災操作説明会
（ Web開催：R3.6.22）

取組番号	13	取組項目名	【重点】 広域避難計画の策定	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、上里町	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・先進事例の情報収集（藤岡市） ・藤岡市と避難場所の相互利用について調整（高崎市） ・近隣の自治体と広域避難に関する協議を実施（玉村町、上里町） ・広域避難計画の立案・策定（高崎市・玉村町、上里町）
今年度の実施状況	・広域避難計画の策定に係る情報収集を行った（高崎市・藤岡市） ・前橋、伊勢崎、玉村町で首長会議を行い、災害時の協定などについて協議をした。（玉村町　11月）
実施予定	・継続実施

■玉村町

近隣市との首長会議を行い、災害時の協定などについて協議をした。

前橋市長　伊勢崎市長　玉村町長

首長会議

■高崎市・藤岡市

広域避難計画の策定に係る情報収集を行った

取組番号	14	取組項目名	緊急避難場所の確保	取組機関	高崎市

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・民間等の高層建物を一時避難場所として確保する取組を実施 ・新町の新設体育館を避難場所として確保
今年度の実施状況	・新設の新町防災アリーナを避難場所として確保 ・新設の吉井中央公園を避難場所として確保
実施予定	・民間等の高層建物を一時避難場所とすることの必要性を検討し、引き続き研究する

新町防災アリーナ
（R4.4.1～運用開始）

最大2,000人を収容できる防災機能を備えた体育館

吉井中央公園
（R3.4～運用開始）

かまどベンチなど防災機能を備えた公園

取組番号	15	取組項目名	【重点】R3 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成。避難訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・洪水浸水想定区域内で地域防災計画に載っている全ての要配慮者利用施設の管理者に避難確保計画を作成させる ・避難訓練の実施を促進 ・対象施設数、計画提出済み施設数、避難訓練実施施設数を把握（以上、各市町） ・作成が進んでいない市町に働きかけ（群馬県、埼玉県）
今年度の実施状況	・各市町において避難確保計画の提出が進捗している（各機関） ・未提出施設に対する支援や働きかけを実施（各機関） ・年度内提出率100%を目指す（高崎市）
実施予定	・継続実施 ・避難訓練の実施を啓発し、要望があれば訓練指導も行う（高崎市）

■高崎市

残りの未提出施設についても、防災安全課職員による作成支援を順次実施し、年度内提出率100%を目指す

■藤岡市

・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等を市ホームページにて周知
・避難確保計画未作成の施設管理者等に対し、電話連絡を実施

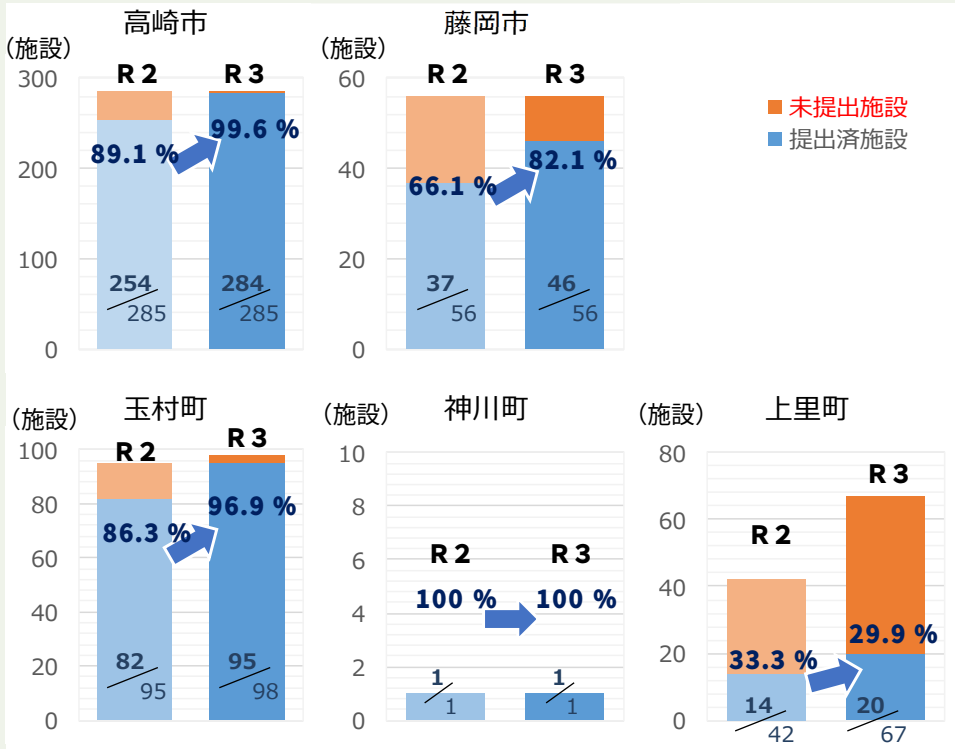
■玉村町

・令和３年１０月に未提出施設に対して再度提出依頼を通知した。
・令和３年６月に避難訓練の実施及び実施報告書の提出について依頼した。

■神川町

・対象１施設にて、今年度避難訓練実施した。

避難確保計画の提出状況



Ｒ２：令和２年度末時点
Ｒ３：令和３年度末時点

※令和3年度末時点に集計したデータをもとに本資料を作成

■上里町

・高齢者福祉、児童福祉、社会福祉の担当部局と情報共有
・町ホームページへ、避難確保計画の手引きや様式を掲載し作成支援
・避難確保計画未作成の施設に対し、令和3年9月3日に防災ガイド・ハザードマップの配布と併せて避難確保計画の作成を依頼

取組番号	15	取組項目名	【重点】R3 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成。避難訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水浸水想定区域内で地域防災計画に載っている全ての要配慮者利用施設の管理者に避難確保計画を作成させる
・避難訓練の実施を促進
・対象施設数、計画提出済み施設数、避難訓練実施施設数を把握（以上、各市町）

・作成が進んでいない市町に働きかけ（群馬県、埼玉県）

今年度の実施状況

・各市町において避難確保計画の提出が進捗している（各機関）
・未提出施設に対する支援や働きかけを実施（各機関）
・年度内提出率100%を目指す（高崎市）

実施予定

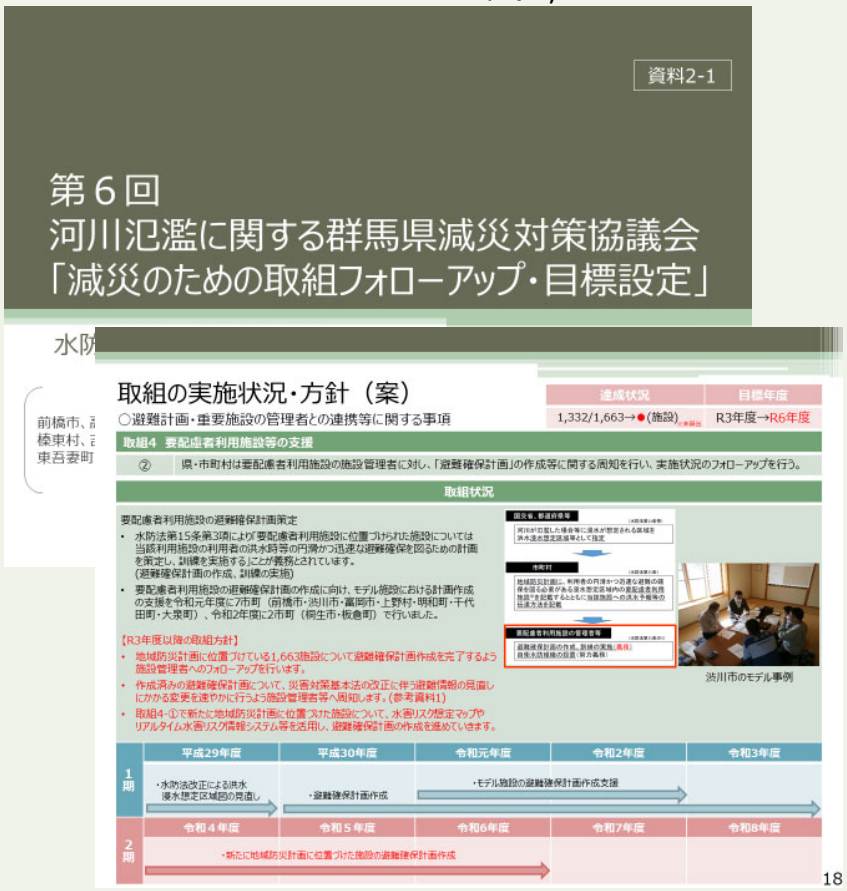
・継続実施

・避難訓練の実施を啓発し、要望があれば訓練指導も行う（高崎市）

■群馬県

・「河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会」にて未作成の施設がある市町に施設管理者等への働きかけを依頼

第１回地域部会資料（6月下旬開催），群馬県



■埼玉県

・市町村に策定の呼びかけ

要配慮者利用施設の避難確保計画作成状況（令和3年9月30日現在）

令和3年9月30日現在

都道府県	対象要配慮者利用施設	避難確保計画を作成している要配慮者利用施設の数
北海道	5,030	3,564
青森県	901	647
岩手県	1,004	880
宮城県	1,849	1,415
秋田県	722	678
山形県	922	832
福島県	1,074	893
茨城県	1,048	936
栃木県	965	780
群馬県	1,664	1,427
埼玉県	5,353	3,537
千葉県	2,145	935
東京都	6,918	4,847
神奈川県	4,273	3,158
新潟県	2,770	2,246
富山県	1,553	875
石川県	1,410	1,263
福井県	1,332	1,004
山梨県	979	691
長野県	2,078	1,376
岐阜県	2,258	1,771
静岡県	3,485	3,097
愛知県	6,139	4,581
三重県	1,542	1,108

都道府県	対象要配慮者利用施設	避難確保計画を作成している要配慮者利用施設の数
滋賀県	1,257	812
京都府	2,311	1,928
大阪府	10,097	7,854
兵庫県	4,184	2,638
奈良県	548	282
和歌山県	1,463	1,064
鳥取県	698	634
島根県	728	592
岡山県	3,312	2,413
広島県	2,717	2,307
山口県	1,039	793
徳島県	1,758	1,758
香川県	1,033	699
愛媛県	1,805	1,367
高知県	1,092	900
福岡県	4,175	2,354
佐賀県	1,743	793
長崎県	460	343
熊本県	2,525	2,269
大分県	1,604	1,307
宮崎県	1,807	1,215
鹿児島県	1,528	732
沖縄県	12	0
合計	105,310	77,595

取組番号	16	取組項目名	浸水想定区域内に位置する要配慮者利用施設等への情報伝達体制の確保	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・要配慮者利用施設（福祉施設、幼稚園、保育所、介護施設）への連絡網の確認・更新
・情報伝達訓練（以上、高崎市、玉村町、神川町、上里町）

・庁舎内情報共有体制の確認と更新（上里町）
・ホームページ等にて、避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を周知（藤岡市）

今年度の実施状況

・災害時電話FAXサービスの登録案内を要配慮者利用施設の管理者へ送付し、登録依頼を周知（高崎市）
・各種団体向けの全体説明会を実施（高崎市）

・市ホームページにて要配慮者利用者施設における避難確保計画の作成等を周知（藤岡市）
・要配慮者利用施設（福祉施設、幼稚園、保育所、介護施設）への連絡体制の確認を実施（玉村町、神川町）
・防災行政無線（同報系）等により情報伝達を随時実施している。（上里町）
・避難所や避難場所となっている一部の福祉施設については、防災行政無線（移動系）の定期試験を実施している。（上里町）

実施予定

・継続実施

■高崎市

・庁内関係部署へ説明会を計3回実施
　①：R3.1.13
　②：R3.4.12
　③：R3.5.28
・区長・民生委員へ本サービスの案内文発送
・高齢者あんしんセンター全体会議で概要説明

■上里町

情報伝達系統と定期試験

同報系無線

本部親局

情報発信

・高性能スピーカ（町内36か所）
・防災情報メール
・電話応答サービス

移動系無線

本部統制局

半固定型（FAX兼用）

携帯型

・防災行政無線（移動系）の定期試験
　令和3年5月26日（水）
　　10月27日（水）
　令和4年2月16日（水）

■藤岡市

・市ホームページにて要配慮者利用者施設における避難確保計画の作成等を周知

■玉村町

・随時、連絡網・担当者の更新を行った

■神川町

・要配慮者利用施設（福祉施設、幼稚園、保育所、介護施設）への連絡体制の確認を行った。

取組番号	17	取組項目名	洪水時におけるホットライン	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・ホットラインの実施（各機関） ・連絡網の確認（各市町、下久保ダム管理所、上信電鉄、関東地方整備局） ・訓練（各市町、下久保ダム管理所、関東地方整備局）
今年度の実施状況	・連絡先の確認・更新（各機関） ・ホットラインの実施（随時）（各機関） ・訓練の実施（藤岡市、玉村町、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、前橋・熊谷地方気象台、下久保ダム管理所、関東地方整備局高崎河川

関係機関とホットライン連絡先の確認・更新（R3実施済）

■藤岡市、前橋地方気象台、下久保ダム管理所

・藤岡市長と前橋地方気象台長や下久保ダム管理所長によるホットラインを取り入れた図上訓練の実施（藤岡市図上訓練（風水害） R3.8月）

■玉村町

・関係機関の訓練に参加（R3.4月、6月）

■関係市町、下久保ダム管理所

・洪水対応演習にてホットライン（関係首長⇔下久保ダム所長）の実施（5月11～12日）
・下久保ダム・神水ダム防災操作説明会にて（関係機関担当⇔下久保ダム担当）確認を実施（ 6月22日）

■前橋地方気象台・熊谷地方気象台

・気象台（管理職等）から自治体防災担当者への能動的ホットラインを、必要に応じて実施（悪天候が予想される時など随時）

■JR東日本高崎支社

・河川管理者との連携してホットラインの実施

河川氾濫を想定した図上訓練の様子（令和３年８月27日　藤岡市）

訓練の中で、関係機関とのホットラインを実際に繋ぐ形式で行った

取組番号	17	取組項目名	洪水時におけるホットライン	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・ホットラインの実施（各機関）
・連絡網の確認（各市町、下久保ダム管理所、上信電鉄、関東地方整備局）
・訓練（各市町、下久保ダム管理所、関東地方整備局）

今年度の実施状況

・連絡先の確認・更新（各機関）
・ホットラインの実施（随時）（各機関）

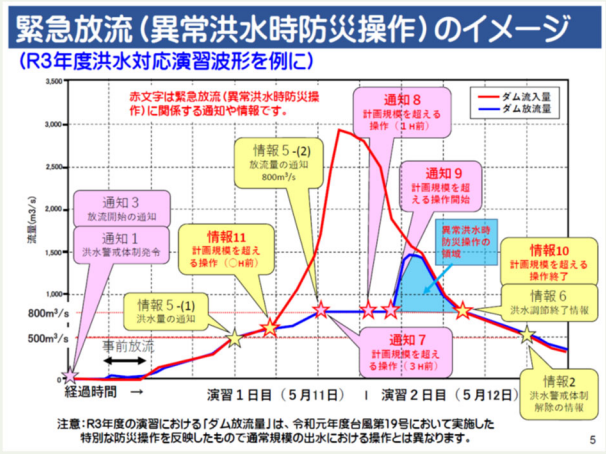
・訓練の実施（藤岡市、玉村町、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、関東地方整備局）

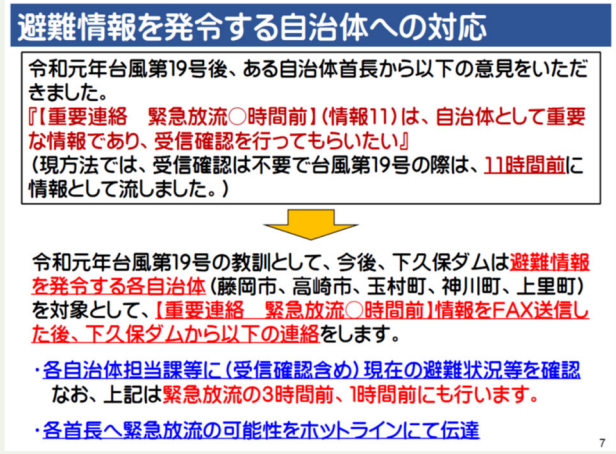
実施予定

・継続実施

■下久保ダム管理所

・4/30～5/10：関係市町のトップにホットラインの（関係首長⇔下久保ダム所長）確認を実施。
・5/11～12：洪水対応演習にてホットライン（関係首長⇔下久保ダム所長）の実施。
・6/22：下久保ダム・神水ダム防災操作説明会にて（関係機関担当⇔下久保ダム担当）確認を実施。
・8/27：藤岡市図上訓練（風水害）藤岡市の災害時対応力強化のための図上訓練に、電話によるホットライン訓練（藤岡市長⇔下久保ダム所長）として参加。





５/１１～１２　洪水対応演習（状況）

藤岡市（市長）、高崎市（副市長）、玉村町（町長）、神川町（町長）、上里町（町長）に、下久保ダム所長よりホットライン（電話連絡）の演習を実施。

防災本部

本社 ⇔ 所長（Ｗｅｂ会議）

防災本部（記録）

取組番号	17	取組項目名	洪水時におけるホットライン	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・ホットラインの実施（各機関） ・連絡網の確認（各市町、下久保ダム管理所、上信電鉄、関東地方整備局） ・訓練（各市町、下久保ダム管理所、関東地方整備局）
今年度の実施状況	・連絡先の確認・更新（各機関） ・ホットラインの実施（随時）（各機関） ・訓練の実施（藤岡市、玉村町、下久保ダム管理所、前橋地方気象台、関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■熊谷地方気象台

ホットラインの実施（気象台（管理職等）から自治体防災担当者へ防災気象情報の提供と解説・助言）

・令和3年度は、顕著な大雨等がなかったため、実施していませんが、
千葉県西部を震源とした地震後、まとまった雨が予想された際、関係市に基準引き下げに伴い警報発表の可能性があることを伝えました。

熊谷地方気象台　報　道　発　表

令和３年１０月８日
熊谷地方気象台

令和3年10月7日22時41分頃の千葉県北西部の地震に伴う

大雨警報・注意報基準の暫定的な運用について

令和3年10月7日22時41分頃の千葉県北西部の地震による地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった埼玉県川口市、宮代町について、大雨警報・注意報の発表基準（土壌雨量指数基準）を引き下げて運用します。

令和3年10月7日22時41分頃の千葉県北西部の地震により、埼玉県川口市、宮代町で震度5強を観測しました。
川口市、宮代町では、地盤が脆弱になっている可能性が高いため、雨による土砂災害の危険性が通常より高いと考えられます。
このため、震度５強を観測した川口市、宮代町については、通常よりも警戒を高めるため、当分の間、熊谷地方気象台が発表する大雨警報・注意報の発表基準（土壌雨量指数基準）を通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用します。

通常基準の８割の暫定基準を設ける市町村
川口市
宮代町（注意報基準のみ変更）

なお、大雨警報（土砂災害）の危険度分布※についても、今回の暫定基準が反映されたものとなり、引き続き避難対象地域の絞込みに活用いただけます。
また、今後は地震後の降雨と土砂災害の関係を調査し、必要に応じて暫定基準を見直します。

※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で５段階に色分けして示す情報です。
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land

問合せ先：
熊谷地方気象台　土砂災害気象官　中村　電話 048-521-5858
FAX 048-521-7933

埼玉県　熊谷地方気象台　報　道　発　表

令和３年１０月８日
埼　玉　県
熊谷地方気象台

令和3年10月7日22時41分頃の千葉県北西部の地震に伴う

土砂災害警戒情報基準の暫定的な運用について

令和3年10月7日22時41分頃の千葉県北西部の地震による地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった埼玉県川口市について、土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用します。

令和3年10月7日22時41分頃の千葉県北西部の地震により、埼玉県川口市で震度5強を観測しました。
川口市では、地盤が脆弱になっている可能性が高いため、雨による土砂災害の危険性が通常より高いと考えられます。
このため、震度５強を観測した川口市については、通常よりも警戒を高めるため、当分の間、埼玉県と熊谷地方気象台が共同で発表する土砂災害警戒情報の発表基準を通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用します。

通常基準の８割の暫定基準を設ける市町村
川口市

なお、大雨警報（土砂災害）の危険度分布※についても、今回の暫定基準が反映されたものとなり、引き続き避難対象地域の絞込みに活用いただけます。
また、今後は地震後の降雨と土砂災害の関係を調査し、必要に応じて暫定基準を見直します。

※ 大雨警報（土砂災害）の危険度分布は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で５段階に色分けして示す情報です。
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land

問合せ先：
埼玉県県土整備部河川砂防課　荒川上流域・砂防担当　佐保　電話 048-830-5141
荒川上流域・砂防担当　横山　電話 048-830-5141
熊谷地方気象台　土砂災害気象官　中村　電話 048-521-5858
FAX 048-521-7933

取組番号	18	取組項目名	市町のまちづくり担当部局等に対し、水害リスク情報を提供	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・まちづくり担当部局等に対し、水害リスク（浸水ナビ、洪水浸水想定区域図等）情報を提供・共有する（各市町） ・協議会等で、構成自治体のまちづくり担当部局への情報共有を要請（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・関連部署への情報提供を毎年実施（高崎市、藤岡市、神川町、上里町） ・町が利用するGISに5mメッシュの浸水区域図を反映した。（玉村町） ・防災ガイド・ハザードマップを配布し情報共有している。（上里町）
実施予定	今後も継続して実施

■高崎市

・関連部署への情報提供を毎年実施

■藤岡市

・まちづくりを担当する部局等への水害リスクに関する情報を提供

■神川町

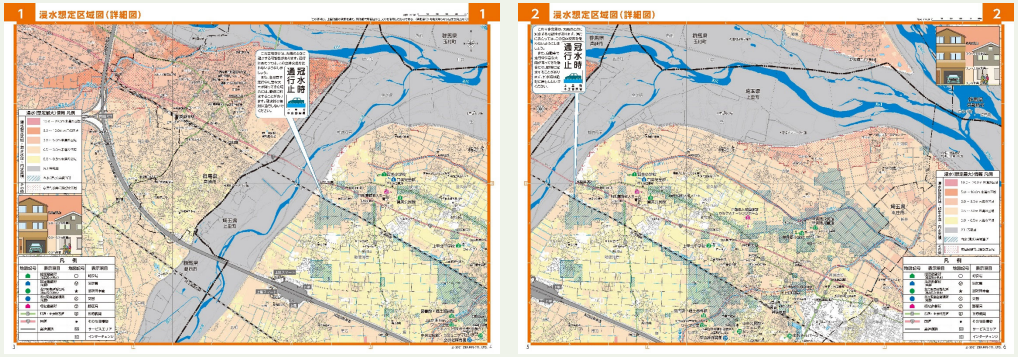
・関連部署への情報提供を実施。

■玉村町

・町が利用するGISに5mメッシュの浸水区域図を反映した。

■上里町

・防災ガイド・ハザードマップを配布し情報共有



浸水想定区域図

取組番号	19	取組項目名	不動産関連事業者に対し、不動産関係団体の研修会等で水害リスク情報を提供	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、関東地方整備局

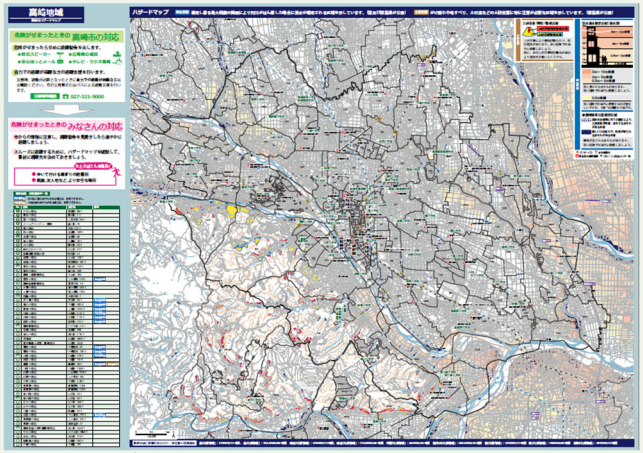
取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・依頼があった場合、不動産関連事業者に対して、水害リスクについて説明を行う（各市町、関東地方整備局） ・ホームページ等にて水害リスクに関する情報を周知（藤岡市）
今年度の実施状況	・依頼があった不動産関連事業者に対し、説明会を実施（高崎市、藤岡市、神川町、上里町） ・窓口での問い合わせに対し、水害リスク等のついて説明（高崎市、玉村市） ・ホームページ等にて水害リスクに関する情報を周知（藤岡市） ・依頼があった場合、不動産関連事業者に対して、水害リスク情報の説明を行う体制を整備した（関東地方整備局）
実施予定	今後も継続して実施

■高崎市

・依頼があった不動産関連事業者に対し、説明会を実施（R3.11.25実施）

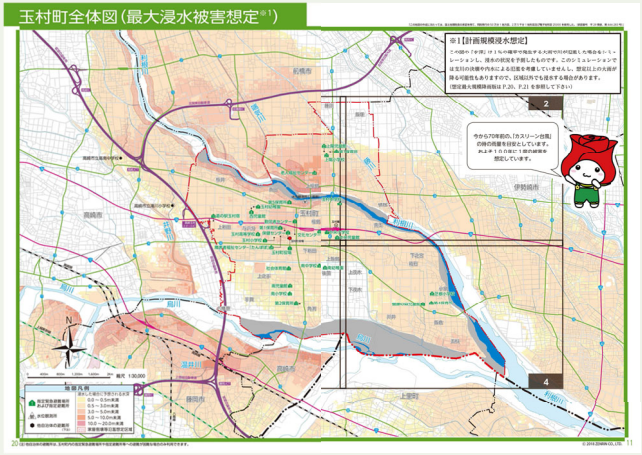
・窓口での問い合わせに対し、説明を実施（通年）



高崎市ハザードマップを使用し、水害リスクについて説明を実施している

■玉村町

・窓口対応の際に随時説明をしている。



■藤岡市

・ホームページ等にて水害リスクに関する情報を周知

・不動産関連事業者等からの問い合わせに対し、水害リスクについての情報を提供

■神川町

依頼があった不動産関連事業者への説明をした。

■上里町

依頼があった不動産関連業者へ、防災ガイド・ハザードマップを活用し随時、情報提供している。

取組番号	20	取組項目名	【重点】 市町・自主防災組織等による要配慮者の避難支援体制の推進	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、埼玉県	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・協議会等で、避難支援体制に関する事例を共有（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、埼玉県）
・要配慮者の避難方法等の参考情報等を要配慮者が身近にいる住民へ提供（高崎市、玉村町、神川町、上里町、埼玉県）
・要配慮者利用施設に向けた避難行動マニュアル等作成（高崎市、埼玉県）
・避難行動要支援者名簿(要配慮者の避難方法等の参考情報等)を消防や警察、各区長へ提供（藤岡市）
・自主防災組織には要配慮者名簿を配布し、非常時だけでなく日常からの見守りに役立ててもらう（玉村町）
・社会福祉協議会と災害時の避難に関する協定の締結（玉村町）

今年度の実施状況

・避難行動要支援者名簿を地域の関係機関・関係者へ提供している（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町）
・避難行動要支援者に、平時からの行政区長や民生委員等への名簿情報等の提供に係る同意及び個別避難計画の作成依頼を継続している。（上里町）
・社会福祉協議会と避難について協議をし、輸送計画を作成した。（玉村町）
・個別避難計画策定を促進するため、研修会を開催した。（埼玉県）

実施予定

・今後も継続して実施

■高崎市
・避難行動要支援者名簿を各区長へ配布し、要支援者の情報を提供している

■藤岡市
・R3.4　消防や警察、区長等に避難行動要支援者名簿を提供

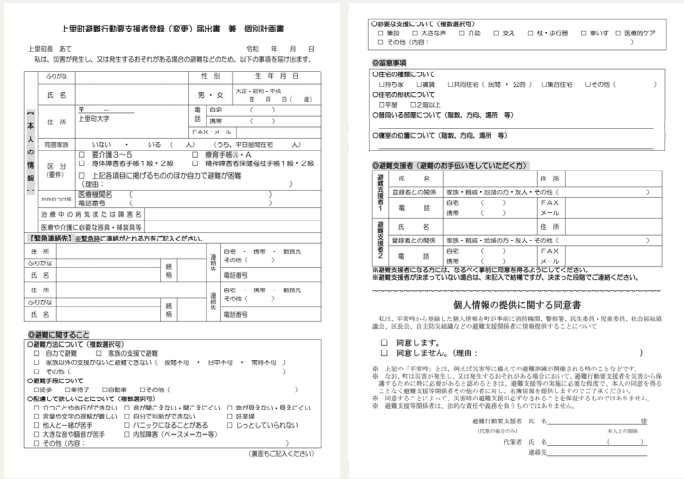
■玉村町
・要配慮者名簿を更新し、自主防災組織に配布した。
・社会福祉協議会と避難について協議をし、輸送計画を作成した。

■神川町
・要配慮者の情報については同意を得て民生委員、支援者に提供（神川町）

■上里町
・名簿情報等の提供について同意された方の情報を行政区長や民生委員等へ提供している。（上里町）

■埼玉県
・市町村を対象に福祉部局と合同で避難行動要支援者に係る個別避難計画策定を促進するため、研修会を開催した。（埼玉県　開催時期：R3.7）

避難行動要支援者名簿に掲載する要配慮者の範囲（在宅のうち）
ア　要介護認定3～5を受けている者
イ　身体障害者手帳（1・2級）の交付を受けている者
ウ　療育手帳（Ⓐ・A）の交付を受けている者
エ　精神障害者保健福祉手帳（1・2級）の交付を受けている者
オ　その他、上記の要件に該当しないが自力避難が困難な者


上里町避難行動要支援者登録（変更）届出書　兼　個別計画書

避難行動要支援者登録（変更）届出書　兼　個別計画書
上里町提供

取組番号	21	取組項目名	【重点】 避難場所（避難所）改善検討	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・住民ニーズを踏まえた避難場所（避難所）環境の改善検討（コロナ対応含む）（各市町）

今年度の実施状況

・避難所におけるコロナ対策を実施（高崎市、上里町）
・避難所の配置図・マニュアル等を作成（高崎市、玉村町）
・太陽光発電及び蓄電池の導入（藤岡市）
・避難所運営訓練等の実施（藤岡市、玉村町）
・避難所となる小中学校へ防災倉庫の設置（神川町）

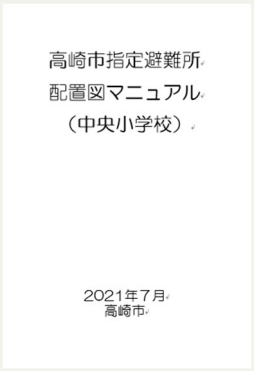
実施予定

・継続実施

■高崎市

・発熱者、濃厚接触者を一括に避難させる避難所を設置

・小中学校における従来の避難所（体育館）以外の避難スペースの確保（主に校舎）及び配置図・マニュアル作成



■藤岡市

・避難所等となる公共施設7施設に太陽光発電及び蓄電池の導入（R3.4～R4.3）
・自主防災組織及び災害協定締結先の企業との連携による避難場所運営訓練の実施（R3.8）
・自主防災組織及び消防団との連携によるHUG研修の実施（R3.12）

【感染症対策に係る備蓄品の購入】

【避難場所運営訓練の実施】

【HUG研修の実施】

■玉村町

・コロナ対応した指定避難所のレイアウトを作成をした。（7月）

コロナ用避難所レイアウト（例）

パーティション配備・設置訓練

取組番号	21	取組項目名	【重点】 避難場所（避難所）改善検討	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・住民ニーズを踏まえた避難場所（避難所）環境の改善検討（コロナ対応含む）（各市町）
今年度の実施状況	・避難所におけるコロナ対策を実施（高崎市、上里町） ・避難所の配置図・マニュアル等を作成（高崎市、玉村町） ・太陽光発電及び蓄電池の導入（藤岡市） ・避難所運営訓練等の実施（藤岡市、玉村町） ・避難所となる小中学校へ防災倉庫の設置（神川町）
実施予定	・継続実施

■神川町

・令和３年は避難所となる小中学校に防災倉庫を設置した。
・備蓄品については神川町役場、多目的交流施設、小中学校防災倉庫へ配備した。

※小中学校への防災倉庫設置工事は令和３年度末完了予定。

■上里町

コロナ禍における避難所対策として、パーティションや自動ラップ式トイレ、蓄電池、検温カメラ等の備品や消毒液、マスク等の消耗品を購入し、各避難所防災倉庫へ配備した。

【防災倉庫の備蓄状況】

【主な備蓄備品】

パーティション（540張）

リチウムイオン蓄電池（4台）

エアベッド（30台）

全自動ラップ式トイレ（30台）

取組番号	22	取組項目名	【重点】 想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域に基づく、洪水ハザードマップの普及・啓発	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水ハザードマップの周知（各市町）
・市町が実施する洪水ハザードマップの周知支援（埼玉県、関東地方整備局）
・マイ・タイムライン作成講習会等（群馬県）
・洪水ハザードマップの見直し（玉村町、神川町）
・外国人居住者向けの防災情報の提供支援（高崎市、玉村町、神川町、上里町）

今年度の実施状況

・マイ・タイムライン作成講習会や出前講座等にてハザードマップの周知・支援を実施（高崎市、藤岡市、群馬県、関東地方整備局）
・ハザードマップを作成し、毎戸配布及び町ホームページ、広報誌で周知・啓発。（藤岡市、上里町）
・洪水ハザードマップの見直し（玉村町・神川町）
・防災ガイド・ハザードマップの外国語版（英語・ポルトガル語）を作成し、外国人居住者への防災情報の提供。（上里町）
・減災対策協議会を通じて洪水ハザードマップ作成促進。（埼玉県）
・洪水浸水想定区域図、水害リスク情報図の公表の周知（埼玉県）
・技術相談窓口対応（埼玉県）

実施予定

・継続実施

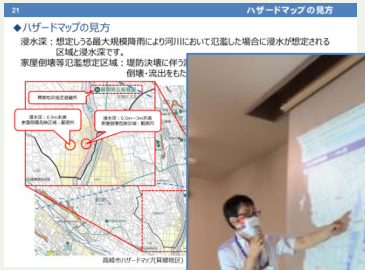
■関東地方整備局高崎河川

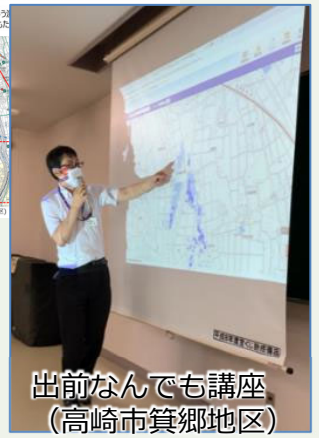
令和3年11月3日「烏・神流川流域における水防災フォーラム」において「マイ・タイムライン作成講座」を開催

（令和3年11月3日　13時~16時（入退室自由））

■群馬県

・マイ・タイムライン作成講習会、防災教育、出前なんでも講座等によるハザードマップの周知支援を計11回実施（回数は予定を含む）




出前なんでも講座
（高崎市箕郷地区）

■高崎市

・防災ハザードマップの提供

■玉村町・神川町

・洪水ハザードマップの見直し

■藤岡市

ハザードマップをHPに掲載したほか、広報誌での特集記事を掲載

■上里町

・防災ハザードマップの提供
・防災ガイド・ハザードマップを作成

令和3年9月に毎戸配布、HP、広報誌で周知・啓発。
また、外国語版（英語・ポルトガル語）を作成

ポルトガル語版

■埼玉県

・減災対策協議会を通じて洪水ハザードマップ作成促進

小山川流域水害リスク情報図

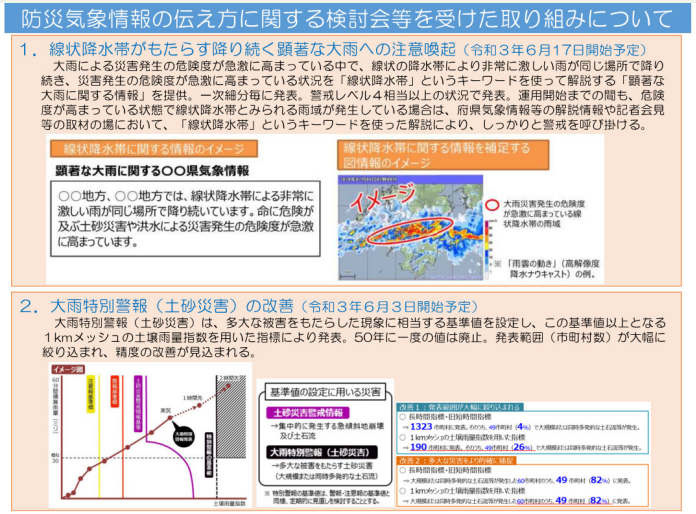
取組番号	23	取組項目名	気象庁で提供する防災気象情報活用に向けた普及・啓発	取組機関	前橋地方気象台、熊谷地方気象台

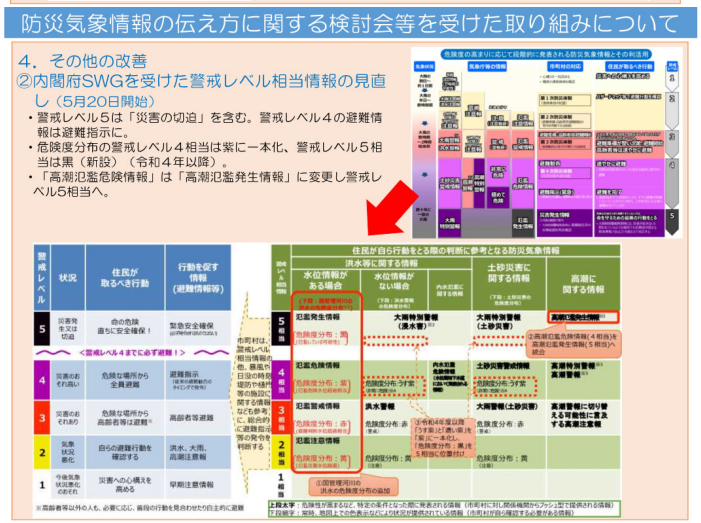
取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

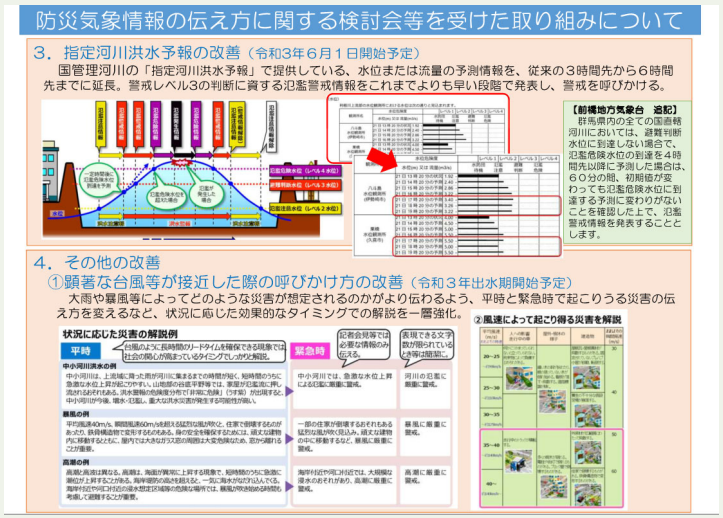
実施内容	・気象庁が提供する防災気象情報の周知（「早期注意情報（警報級の可能性）」、「危険度を色分けした時系列」、「大雨・洪水警報の危険度分布」等）
今年度の実施状況	・群馬県市町村防災担当者会議において、防災気象情報の改善点などについて県及び各市町村の防災担当者に説明を実施。（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
実施予定	・令和4年度以降も継続して実施する予定

■前橋地方気象台

群馬県市町村防災担当者会議（令和3年6月11日）において、防災気象情報の伝え方に関する検討会等を受けた取り組み（顕著な大雨への注意喚起、指定河川洪水予報の改善、警戒レベル相当情報の見直しなど）についての説明を、県会議システムを活用し、県及び各市町村の防災担当者に向けて行った。







「防災気象情報の伝え方に関する検討会等を受けた取り組み」についての説明資料（一部抜粋）

取組番号	23	取組項目名	気象庁で提供する防災気象情報活用に向けた普及・啓発	取組機関	前橋地方気象台、熊谷地方気象台

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・気象庁が提供する防災気象情報の周知（「早期注意情報（警報級の可能性）」、「危険度を色分けした時系列」、「大雨・洪水警報の危険度分布」等）

今年度の実施状況

・群馬県市町村防災担当者会議において、防災気象情報の改善点などについて県及び各市町村の防災担当者に説明を実施。（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）

実施予定

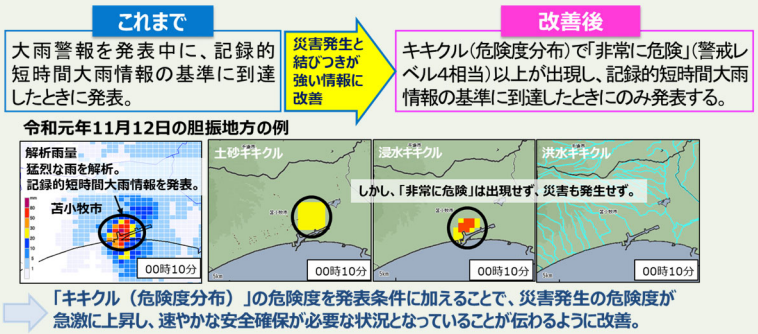
・令和4年度以降も継続して実施する予定

■熊谷地方気象台

防災気象情報の伝え方検討会において、今後の改善策と推進すべき取組がとりまとめられ、令和3年出水期から以下の防災気象情報の改善を行い、他の改善事項と合わせて県や市町村への説明を実施した。

- 線状降水帯がもたらす降り続く顕著な大雨への注意喚起
- 大雨特別警報（土砂災害）の発表指標の改善
- 指定河川洪水予報の水位予測情報を、６時間先までに延長する改善
- 記録的短時間大雨情報の改善
- キキクル（危険度分布）のメール通知を開始

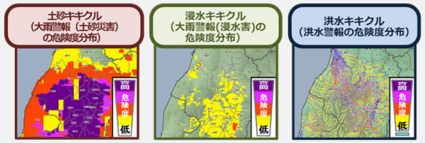
・記録的短時間大雨情報を、当該市町村が警戒レベル４相当の状況となっている場合にのみ発表。（令和3年6月3日）



・大雨時の防災対応に役立てていただくことを目的として、気象庁防災情報提供システムによるキキクル（危険度分布）のメール通知※を開始。（令和3年6月3日）

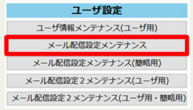
受信設定可能な条件

- **災害種別**
  土砂災害、浸水害、洪水又はそれらを総合した危険度のうち、受信したいものだけを選択可能



- **危険度**
  早期注意情報以上、「注意」（黄色）以上、「警戒」（赤）以上、「非常に危険」（うす紫）以上、「極めて危険」（濃い紫）以上のいずれか
- **配信対象地域**
  二次細分区域単位又は一次細分区域単位で設定可能

受信設定画面のイメージ



※ キキクル(危険度分布)の通知サービスについては、以下のリンク先の５つの事業者でも実施しています。各社のアプリ等の仕様により通知の条件が異なる場合がありますので、詳しくは各社の説明をご覧ください。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/bosai/ame_push.html

注）なお、運用開始当初は、「警戒レベル１」の判定に、早期注意情報（明後日以降）の[中][高]が考慮されていませんが、準備が整い次第、「警戒レベル１」の判定に、早期注意情報（明後日以降）の[中][高]も用いるように変更する予定です。実施日時は決まり次第速やかにお知らせします。

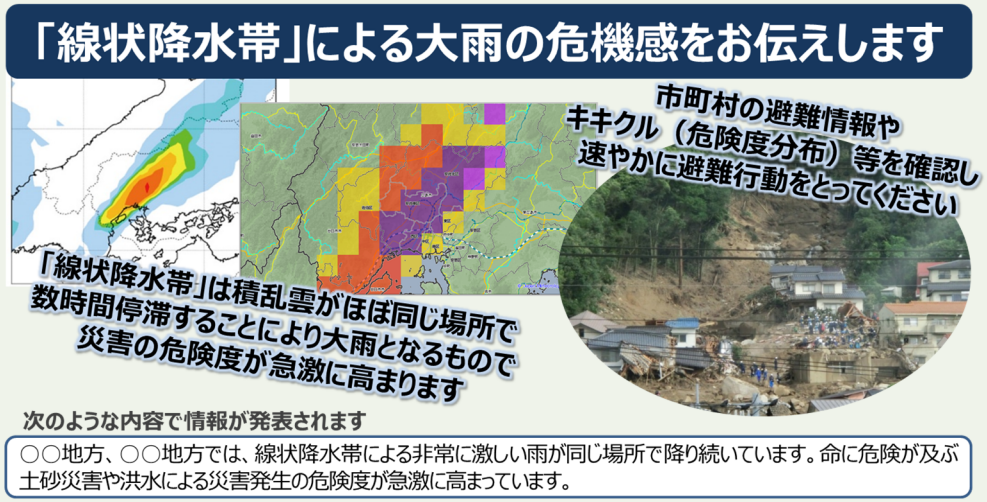
取組番号	23	取組項目名	気象庁で提供する防災気象情報活用に向けた普及・啓発	取組機関	前橋地方気象台、熊谷地方気象台

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・気象庁が提供する防災気象情報の周知（「早期注意情報（警報級の可能性）」、「危険度を色分けした時系列」、「大雨・洪水警報の危険度分布」等）
今年度の実施状況	・群馬県市町村防災担当者会議において、防災気象情報の改善点などについて県及び各市町村の防災担当者に説明を実施。（前橋地方気象台、熊谷地方気象台）
実施予定	・令和4年度以降も継続して実施する予定

■熊谷地方気象台（つづき）

・大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「顕著な大雨に関する情報」を提供。（令和3年6月17日）



・大雨特別警報（土砂災害）を運用を、１kmメッシュの土壌雨量指数を用いた発表指標に改善。（令和3年6月8日）
　　発表範囲（市町村数）が大幅に絞り込まれ、精度の改善が見込まれる。

その他の防災気象情報の伝え方検討会を受けた改善事項は以下を参照。
https://www.jma.go.jp/jma/press/2105/24a/20210524_tsutaekatakaizen.html

・「台風の暴風域に入る確率」について、24 時間以内に台風に発達すると見込まれる熱帯低気圧の段階から提供を開始。（令和3年6月29日）

取組番号	24	取組項目名	地域の自主的な避難につながる避難訓練等の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・出前講座による各種団体への訓練実施の啓発、パンフレット配布
・自主防災組織による水防訓練の実施（以上、各市町）

・自主防災組織の見直しを行い、設立に向けて推進中（上里町）

今年度の実施状況

・出前講座、自主防災組織等による避難場所運営訓練、水防訓練等の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町）

実施予定

今後も継続して実施

■高崎市

・出前講座による各種団体への訓練実施の啓発
・町内の防災訓練へ出向し、指導・助言を実施

R3.11.23　中央地区防災訓練の様子

R3.12現在　6件実施

■藤岡市

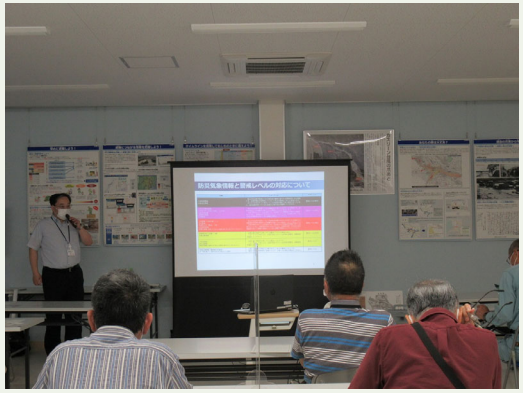
・防災出前講座の実施（通年）
・自主防災組織及び災害協定締結先の企業との連携による避難場所運営訓練の実施（R3.8）
・自主防災組織及び消防団との連携によるHUG研修の実施（R3.12）

■玉村町

・気象庁による出前講座を開催した。
・浸水区域である川井地区の自主防災組織が水防訓練を行った。

川井地区水防訓練

気象台による出前講座（一般住民向）



取組番号	24	取組項目名	地域の自主的な避難につながる避難訓練等の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・出前講座による各種団体への訓練実施の啓発、パンフレット配布
・自主防災組織による水防訓練の実施（以上、各市町）

・自主防災組織の見直しを行い、設立に向けて推進中（上里町）

今年度の実施状況

・出前講座、自主防災組織等による避難場所運営訓練、水防訓練等の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町）

実施予定

今後も継続して実施

■神川町

自主防災組織や民生委員へ防災講座を実施

・上阿久原地区防災講座　　令和３年９月１５日
・民生児童委員研修部会研修会　　令和３年１０月１５日
・関口自主防災会研修会　　令和３年１１月２８日
・下阿久原防災会研修会　　令和３年１１月２８日

■上里町

防災ガイド・ハザードマップを活用した防災講習会、パーティションや段ボールベッド等を利用した避難所設営訓練等を、自主防災組織や各種女性団体等を対象に開催した。

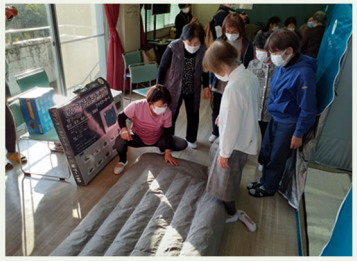
【自主防災組織】
令和3年 5月23日（日）19名
11月21日（日）30名
12月 5日（日）23名
12月12日（日）18名

・防災ガイド・ハザードマップの説明
・避難訓練
・避難所設営訓練
・消火訓練
・備蓄食料等の配布　他

【女性団体】
令和3年10月19日（火）14名
10月29日（金）27名
11月 4日（木）16名
11月 8日（月）11名

・防災ガイド・ハザードマップの説明
・避難所設営訓練
・備蓄食料等の配布　他

【高齢者団体】
令和4年2月21日（月）



取組番号	25	取組項目名	自主防災組織の維持と避難誘導者の担い手の指定・育成	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・自主防災組織率向上や避難誘導者育成のための出前講座の実施（各市町、群馬県） ・自主防災組織への支援（各市町） ・防災士を増やす取組（玉村町） ・自主防災組織の防災リーダーの指定、育成（上里町）
今年度の実施状況	・講習会等の開催（高崎市、藤岡市、神川町、上里町、群馬県） ・自主防災組織への支援（高崎市、藤岡市、神川町） ・防災士を増やすように地区に周知（玉村町） ・自主防災組織の設立や推進を呼びかけた（上里町）
実施予定	・継続実施

■高崎市

・自主防災組織結成率　約80%（R3.12月現在）

・自主防災組織への支援

（結成時：上限18万円の補助）

（訓練時：上限9万円の補助）

R3年度訓練補助件数　95件

R3年度結成補助件数　1件

■藤岡市

・自主防災組織の活動に対する助成

（資器材購入費として、最大５万円（補助率２分の１））

・出前講座の実施

自主防災組織のリーダーをはじめとした地域住民へ、災害対応等の出前講座を行った。

「R３年度実績」

R３.11現在　４団体実施

■玉村町

・防災士を増やすように地区に周知し、本年度は９人が防災士講座の申し込みを行った。

（7月、11月）

■神川町

・防災講座を実施　11月（2回）

藤岡市　出前講座の実施状況

取組番号	25	取組項目名	自主防災組織の維持と避難誘導者の担い手の指定・育成	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・自主防災組織率向上や避難誘導者育成のための出前講座の実施（各市町、群馬県） ・自主防災組織への支援（各市町） ・防災士を増やす取組（玉村町） ・自主防災組織の防災リーダーの指定、育成（上里町）
今年度の実施状況	・講習会等の開催（高崎市、藤岡市、神川町、上里町、群馬県） ・自主防災組織への支援（高崎市、藤岡市、神川町） ・防災士を増やすように地区に周知（玉村町） ・自主防災組織の設立や推進を呼びかけた（上里町）
実施予定	・継続実施

■上里町

・自主防災組織の機能強化や避難誘導者育成のための防災講習会等を開催した。
・行政区長との防災ディスカッションを開催し、自助・共助の取り組みの重要性と併せて、自主防災組織の設立や推進を呼びかけた。

【防災講習会・避難訓練等】

令和3年 5月23日（日）19名
11月21日（日）30名
12月 5日（日）23名
12月12日（日）17名

・防災ガイド・ハザードマップの説明
・避難訓練
・避難所設営訓練
・消火訓練
・備蓄食料等の配布　他

【防災ディスカッション】

令和3年11月 7日（日）20名

・避難方法と避難所について
・行政区の役割について
・災害情報・避難情報について

取組番号	25	取組項目名	自主防災組織の維持と避難誘導者の担い手の指定・育成	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・自主防災組織率向上や避難誘導者育成のための出前講座の実施（各市町、群馬県） ・自主防災組織への支援（各市町） ・防災士を増やす取組（玉村町） ・自主防災組織の防災リーダーの指定、育成（上里町）
今年度の実施状況	・講習会等の開催（高崎市、藤岡市、神川町、上里町、群馬県） ・自主防災組織への支援（高崎市、藤岡市、神川町） ・防災士を増やすように地区に周知（玉村町） ・自主防災組織の設立や推進を呼びかけた（上里町）
実施予定	・継続実施

■群馬県

・ぐんま地域防災アドバイザー防災士養成講座を２回開催
・フォローアップ研修を１回実施

【背景】

※「防災士」はNPO法人日本防災士機構が認証する者

地域防災力の向上には、自主防災組織の組織率向上と活性化が必要です。県内の組織率は、91.7%（R2.4）となっており、全国水準を上回っているものの、その活動は必ずしも活発とは言い切れません。
その要因としては、多くの組織が自治会等を母体としており、リーダー（自治会長）が数年で交代してしまうことなどがあげられます。

【必要性】

○　組織の役員が数年で替わる現状を踏まえ、リーダーをサポートする人材育成が急務
○　リーダーをサポートし、長期間にわたり、組織の中心的役割を担う人材として、防災に関する基本的な知識と技能を要する『**防災士**』※を活用することが効果的
○　災害時のみならず、平時にも防災活動の中心として活躍できる『**防災士**』を養成し、県の認定資格を与え、地域の防災活動に活用

ぐんま地域防災アドバイザー防災士養成講座

防災士資格取得試験の受験資格が取得できる講座を県が開催し、計画的に『防災士』の養成を実施します。当講座を受講して防災士を取得した者は、県及び県内市町村とで共有する名簿に『ぐんま地域防災アドバイザー』として登録します。

<令和2年度実績>
○集合研修日程
令和2年 12月12日（日）13日（月）（高崎市総合保健センター）
○参加人数：128名

※令和２年度末　ぐんま地域防災アドバイザー　６３８名（見込）

<令和3年度>
第１回　○集合研修日程　令和3年12月18日（土）19日（日）（高崎市役所会議室）
　　○参加人数：　９６名
第２回　○集合研修日程　令和3年12月25日（土）26日（日）（社会教育総合センター）
　　○参加人数：　５２名

ぐんま地域防災アドバイザーを対象としたフォローアップ研修

第１回　○日程　令和3年7月4日（日）
　　○参加人数　９４名
　　○内容　活動紹介、マイタイムラインの作成研修等

取組番号	26	取組項目名	【重点】R3 防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・洪水浸水想定区域内の住民や自主防災組織に対して、水防災に関する出前講座の実施、イベントの開催（各機関） ・水防災に関する関係機関との連携強化（市町村防災担当研修、勉強会、ワークショップ等）（前橋・熊谷地方気象台） ・水防災に関する出前講座等の参考となる資料を関係市町へ提供（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を主催。また、同フォーラムにてマイ・タイムライン作成講座等を開催（各機関） ・出前講座や防災講習会の実施（各機関）
実施予定	・継続実施

■各機関

「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を開催。水防災の知識向上のための各種催しを開催し、当日は２００名を超える流域住民が参加した。

・開催日時：令和3年11月3日（水・祝）開場・受付 午後1時（入場午後1時30分）開会 午後2時／閉会 午後4時30分
・開催場所：Gメッセ群馬（群馬県高崎市岩押町12-24）
・主催：「烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」及び「烏川・神流川流域治水協議会」
・後援：（一社）群馬県建設業協会、（一社）群馬県測量設計業協会、上毛新聞社、株式会社エフエム群馬、NHK前橋放送局
・フォーラムの概要
　「水防災意識社会」の再構築のための防災・減災対策のこれまでの取組状況や流域治水に関する取組について、地域住民のみなさまと一緒に理解を深めるきっかけとなるフォーラムとし、「防災・減災が主流となる社会」の実現に向けた本格的なスタートとする。
・コンセプト
➢ 大人から子どもまで、地域の水害リスクや水防災意識を持つきっかけづくり
➢ 協議会として防災・減災対策の取組の周知と今後の流域治水に向けた抱負を伝える場
➢ 子どもがいる世代も気軽に参加出来て、楽しめる雰囲気づくり

来場者数：248名（事前予約制300名）

取組番号	26	取組項目名	【重点】R3 防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水浸水想定区域内の住民や自主防災組織に対して、水防災に関する出前講座の実施、イベントの開催（各機関）
・水防災に関する関係機関との連携強化（市町村防災担当研修、勉強会、ワークショップ等）（前橋・熊谷地方気象台）
・水防災に関する出前講座等の参考となる資料を関係市町へ提供（関東地方整備局）

今年度の実施状況

・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を主催。また、同フォーラムにてマイ・タイムライン作成講座等を開催（各機関）

・出前講座や防災講習会の実施（各機関）

実施予定

・継続実施

■各機関「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」（つづき）

プログラム内容
- ➢開会挨拶［国土交通省 高崎河川国道事務所長］
- ➢基調講演［群馬大学大学院 教授 清水義彦 氏］
  - ✓『利根川水系の豪雨災害と治水について考える』
- ➢屋内・屋外展示等
  - ✓ 減災取組パネル展示（クイズ／シールラリー）
  - ✓ マイタイムライン作成会
  - ✓ 災害対策車両展示
  - 自然災害体験車・地震体験車展示
- ➢パネルディスカッション第１部
  - ✓ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ： 内藤聡氏
  - （FM群馬　ラジオﾊﾟｰｿﾅﾘﾃｨ/ぐんま特使/藤岡市観光特使）
  - ✓『近年の気候変動と水害の発生状況について』
  - ✓パネリスト
    - 清水義彦氏（群馬大学大学院 教授）
    - 荒牧京子氏（ウェザーニューズ 気象キャスター）
    - 石橋一恭氏（(独)水資源機構 下久保ダム管理所長）
    - 福井貴規氏（国土交通省 高崎河川国道事務所長）
- ➢パネルディスカッション第２部
  - 『「烏・神流川流域の減災に係る取組方針」における取組状況と今後の流域治水に向けた抱負について』
  - ✓ 平成２８年度～令和２年度までの防災・減災の取組について
  - ✓ 今後、各市町の防災・減災の取り組みや流域治水に向けた地域づくりの抱負について
  - ✓ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ： 内藤聡氏
  - （FM群馬　ラジオﾊﾟｰｿﾅﾘﾃｨ/ぐんま特使/藤岡市観光特使）

パネルディスカッション第１部

パネルディスカッション第２部

第１部・第２部
コーディネイター

屋内展示
（減災取組展示・クイズ/シールラリー）

マイ・タイム
ライン作成会

自然災害体験車

地震体験車

災害対策車両

クイズ/シールラリー受付

取組番号	26	取組項目名	【重点】R3 防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水浸水想定区域内の住民や自主防災組織に対して、水防災に関する出前講座の実施、イベントの開催（各機関）
・水防災に関する関係機関との連携強化（市町村防災担当研修、勉強会、ワークショップ等）（前橋・熊谷地方気象台）
・水防災に関する出前講座等の参考となる資料を関係市町へ提供（関東地方整備局）

今年度の実施状況

・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を主催。また、同フォーラムにてマイ・タイムライン作成講座等を開催（各機関）

・出前講座や防災講習会の実施（各機関）

実施予定

・継続実施

■藤岡市：出前講座等を開催
・４団体を対象に実施（令和３年11月現在）

■上里町：自主防災組織や女性団体等を対象に、防災ガイド・ハザードマップを活用した防災講習会を開催。

【自主防災組織】
令和3年 5月23日（日）19名

【高齢者団体】
令和4年2月21日（月）

【女性団体】
令和3年10月19日（火）14名
10月29日（金）27名
11月 4日（木）16名
11月 8日（月）11名

■神川町：出前講座等を開催

・上阿久原地区防災講座	令和３年９月１５日
・民生児童委員研修部会研修会	令和３年１０月１５日
・関口自主防災会研修会	令和３年１１月２８日
・下阿久原防災会研修会	令和３年１１月２８日

■高崎市：小学校や町内会等への出前講座

令和３年	７月 ８日	１４人
	８月 １日	３２人
	１１月２５日	２４人
	１１月２５日	１５０人
	１２月１０日	１３人
令和４年	２月２４日	２５人

出前講座開催状況（高崎市）

令和4年2月24日 車郷小学校出前講座

防災講習会開催状況（上里町）

出前講座開催状況（藤岡市）

取組番号	26	取組項目名	【重点】R3 防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・洪水浸水想定区域内の住民や自主防災組織に対して、水防災に関する出前講座の実施、イベントの開催（各機関） ・水防災に関する関係機関との連携強化（市町村防災担当研修、勉強会、ワークショップ等）（前橋・熊谷地方気象台） ・水防災に関する出前講座等の参考となる資料を関係市町へ提供（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を主催。また、同フォーラムにてマイ・タイムライン作成講座等を開催（各機関） ・出前講座や防災講習会の実施（各機関）
実施予定	・継続実施

防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催した。

■群馬県：説明会・出前講座等を実施

・「ぐんまの防災」

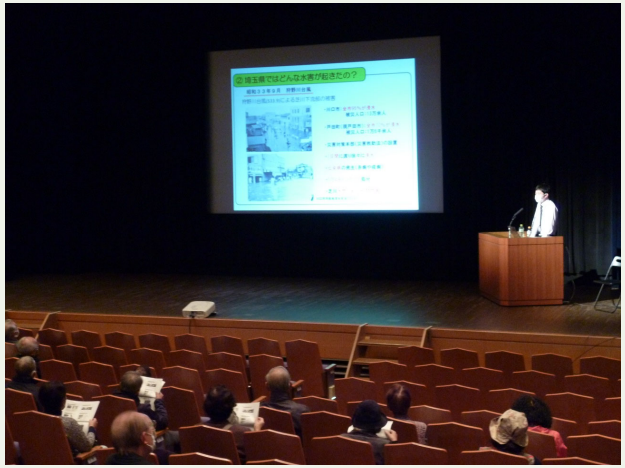
6月16日 ＵＡゼンセン
11月 4日 明和町教育委員会
11月26日 群馬県生活協同組合連合会
12月 7日 群馬行政相談委員協議会
前橋支部
１月15日 地域政策研究集団MiraizClub

「水害に備えて」

7月 8日 高崎市おりひめ学級
7月30日 太田市沢野いきいき
ワクワク学級

■埼玉県：出前講座を実施

・ 出前講座「埼玉県の河川防災について」３件実施



埼玉県　講座の様子

群馬県
ぐんまの防災資料および講座の様子

取組番号	26	取組項目名	【重点】R3 防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水浸水想定区域内の住民や自主防災組織に対して、水防災に関する出前講座の実施、イベントの開催（各機関）
・水防災に関する関係機関との連携強化（市町村防災担当研修、勉強会、ワークショップ等）（前橋・熊谷地方気象台）
・水防災に関する出前講座等の参考となる資料を関係市町へ提供（関東地方整備局）

今年度の実施状況

・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を主催。また、同フォーラムにてマイ・タイムライン作成講座等を開催（各機関）

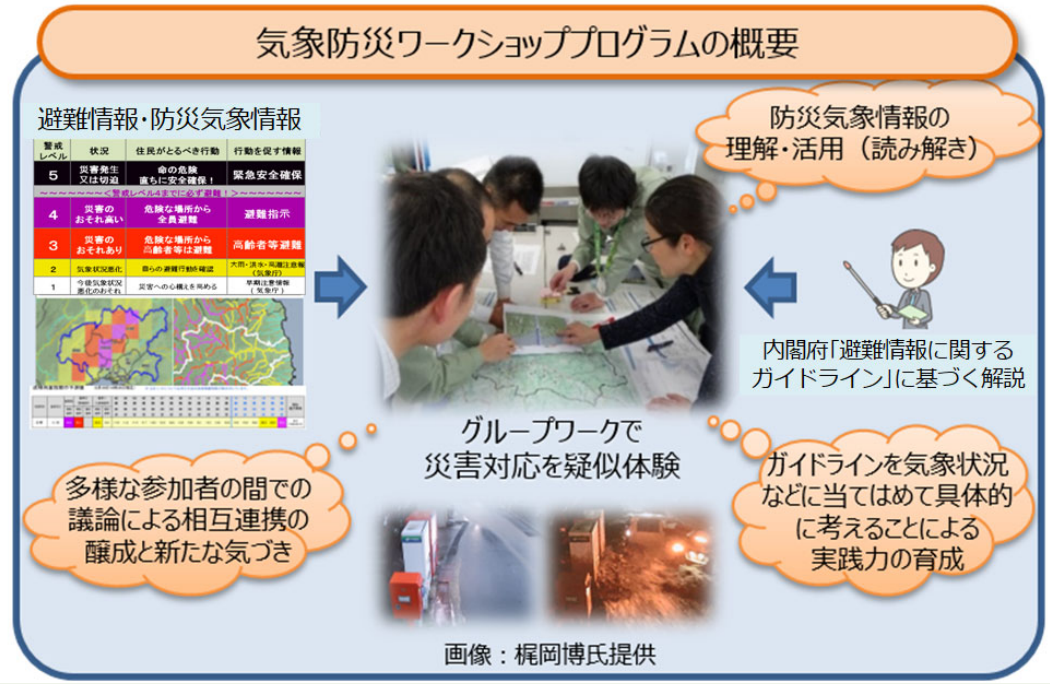
・出前講座や防災講習会の実施（各機関）

実施予定

・継続実施

■熊谷地方気象台
令和3年度のオンラインによる気象防災ワークショップ実施状況
　中小河川洪水災害編：11月25日、1月18日、土砂災害編：11月30日、2月21日

気象庁では、地域における防災対応推進を図る目的で、地方公共団体防災担当者向けの「気象防災ワークショッププログラム」を開発、平成30年5月から一般公開しています。
パソコンやスマートフォン等によりテレビ会議を実施できるアプリケーション（Zoomミーティング）を活用して、有識者の指導と実践を通じて、オンラインで気象防災ワークショップを実施するためのノウハウを詰め込んだマニュアルを作成しています。
コロナ禍においても、多くの地方公共団体の参加とグループワークを可能とする「オンラインワークショップ」を導入しています。



オンラインでの参加者等

運営スタッフ（気象台）

（参考　令和2年度）

取組番号	27	取組項目名	【重点】浸水想定区域内の小中学校等における水防災教育の実施（教育委員会及び教職員と連携し、継続的な水防災教育の場を実現する。）	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・教育委員会と協議（高崎市、玉村町、神川町、群馬県、関東地方整備局） ・防災教育として教育委員会で実施（藤岡市） ・小学校等における水防災の授業等の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台） ・小学生を対象とした避難所体験を実施（玉村町） ・江戸川河川事務所が作成した学習指導計画等を埼玉県減災対策協議会において共有（埼玉県） ・洪水浸水想定区域内の小学校において水防災に関する出前講座の実施（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・教育委員会と連携（高崎市） ・小中学校を対象に、防災学習や出前講座、避難体験教室等を開催（高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、関東地方整備局） ・県減災対策協議会においてモデル校を選定し、R3～R4の防災教育の実施に向けた打合せを実施（予定）（群馬県） ・動画を作成・提供（熊谷地方気象台）
実施予定	・継続実施

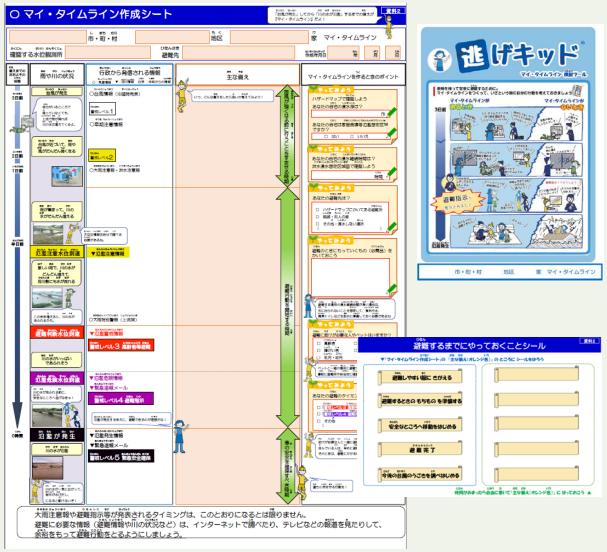
■関東地方整備局高崎河川

- 高崎市立新町第一小学校の５年生を対象に総合学習の一環として、逃げキッドを使ったマイ・タイムラインの作成や降雨体験車による台風の大雨体験を実施（令和3年7月）
- マイ・タイムライン作成シートを製作し、高崎河川国道事務所HPにて公開（R4年3月22日に公開済）

小学生を対象とした出前講座の状況

出典）　高崎河川国道事務所 公式Twitter

マイ・タイムライン作成シート（イメージ）



※シール等は対象者により異なる場合がある

出典）　高崎河川国道事務所

取組番号	27	取組項目名	【重点】浸水想定区域内の小中学校等における水防災教育の実施（教育委員会及び教職員と連携し、継続的な水防災教育の場を実現する。）	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・教育委員会と協議（高崎市、玉村町、神川町、群馬県、関東地方整備局） ・防災教育として教育委員会で実施（藤岡市） ・小学校等における水防災の授業等の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台） ・小学生を対象とした避難所体験を実施（玉村町） ・江戸川河川事務所が作成した学習指導計画等を埼玉県減災対策協議会において共有（埼玉県） ・洪水浸水想定区域内の小学校において水防災に関する出前講座の実施（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・教育委員会と連携（高崎市） ・小中学校を対象に、防災学習や出前講座、避難体験教室等を開催（高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、関東地方整備局） ・県減災対策協議会においてモデル校を選定し、R3～R4の防災教育の実施に向けた打合せを実施（予定）（群馬県） ・動画を作成・提供（熊谷地方気象台）
実施予定	・継続実施

■高崎市：小学校にて出前講座の授業を実施（R3.12.10　多胡小学校）

■藤岡市：小学校にて防災教育を実施（R３.10）
・小学校で防災教育を行い、教職員にも補助役を担ってもらいハザード域のワークショップを実施。

防災教育実施状況（藤岡市）

防災教育実施状況（藤岡市）

■上里町：中学校と連携した防災教室（R3.7.14）
対象：上里中学校　2年生　161人
内容：①町長からの講話
②避難所パーティションの設営（40張）
③担当職員による令和元年東日本台風時の町の状況・災害時に中学生に期待すること等について講義

町長の講話

パーティション設営・体験

担当職員の講義

取組番号	27	取組項目名	【重点】浸水想定区域内の小中学校等における水防災教育の実施（教育委員会及び教職員と連携し、継続的な水防災教育の場を実現する。）	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・教育委員会と協議（高崎市、玉村町、神川町、群馬県、関東地方整備局） ・防災教育として教育委員会で実施（藤岡市） ・小学校等における水防災の授業等の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台） ・小学生を対象とした避難所体験を実施（玉村町） ・江戸川河川事務所が作成した学習指導計画等を埼玉県減災対策協議会において共有（埼玉県） ・洪水浸水想定区域内の小学校において水防災に関する出前講座の実施（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・教育委員会と連携（高崎市） ・小中学校を対象に、防災学習や出前講座、避難体験教室等を開催（高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、関東地方整備局） ・県減災対策協議会においてモデル校を選定し、R3～R4の防災教育の実施に向けた打合せを実施（予定）（群馬県） ・動画を作成・提供（熊谷地方気象台）
実施予定	・継続実施

■玉村町：避難所体験教室（宿泊型）を小学生向けに開催した（R3.8）。

避難体験教室（玉村町）

避難体験教室（玉村町）

■群馬県：中学校と連携した防災教育の実施（R3.10.14）

対象：共愛学園中高生 約1,300名
時間：50分
科目：ロングホームルーム
内容：水害リスクやハザードマップの説明
コロナ対策：共愛学園の礼拝堂より各クラスにYouTube（限定公開）による配信

当日の状況（群馬県）

当日の状況（群馬県）

当日の状況（群馬県）

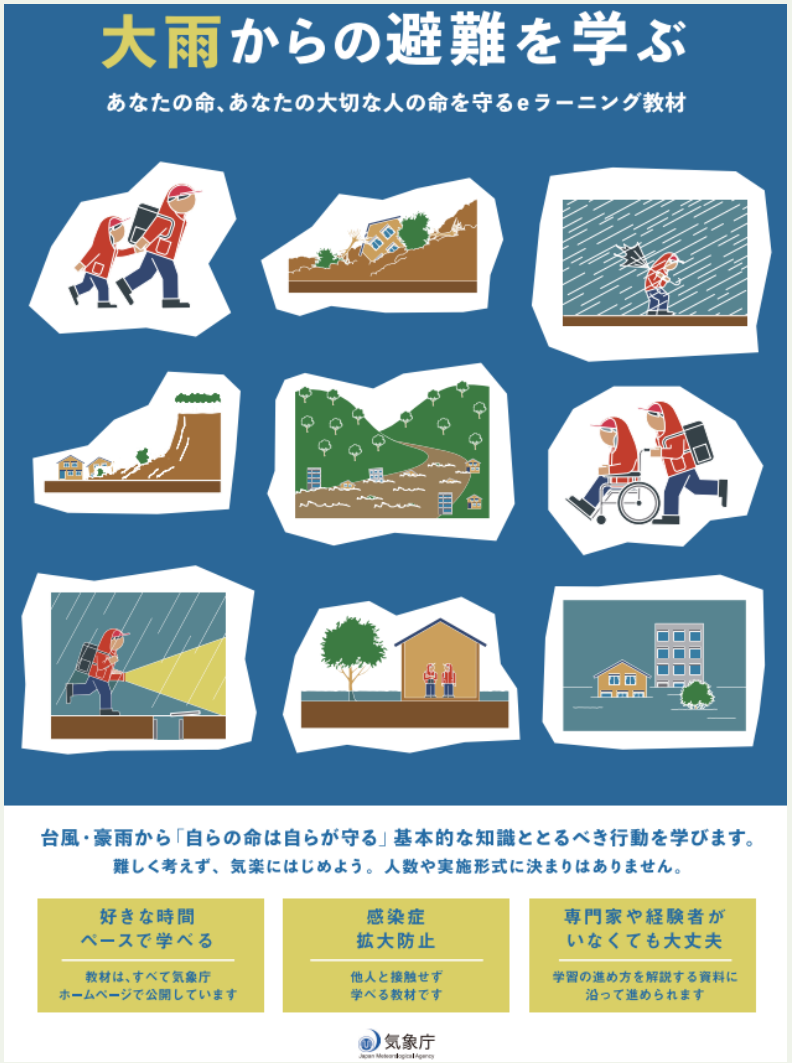
取組番号	27	取組項目名	【重点】浸水想定区域内の小中学校等における水防災教育の実施（教育委員会及び教職員と連携し、継続的な水防災教育の場を実現する。）	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・教育委員会と協議（高崎市、玉村町、神川町、群馬県、関東地方整備局） ・防災教育として教育委員会で実施（藤岡市） ・小学校等における水防災の授業等の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台） ・小学生を対象とした避難所体験を実施（玉村町） ・江戸川河川事務所が作成した学習指導計画等を埼玉県減災対策協議会において共有（埼玉県） ・洪水浸水想定区域内の小学校において水防災に関する出前講座の実施（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・教育委員会と連携（高崎市） ・小中学校を対象に、防災学習や出前講座、避難体験教室等を開催（高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、群馬県、関東地方整備局） ・県減災対策協議会においてモデル校を選定し、R3～R4の防災教育の実施に向けた打合せを実施（予定）（群馬県） ・動画を作成・提供（熊谷地方気象台）
実施予定	・継続実施

■熊谷地方気象台　令和3年度の実施状況
・埼玉県学校危機管理研修会では、「マイタイムラインへの防災気象情報の利活用について」の動画を作成し提供しました。（6月）
・学校安全教育指導者研修会（公立高等学校・特別支援学校、公立小・中・義務教育学校）では、「マイタイムラインへの防災気象情報の利活用について」「災害から身を守る」の動画を作成し提供しました。（6,7月）

気象庁では、「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動について多くの方に学んでいただける学習教材（eラーニング）の提供を気象庁ホームページで行っています。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html



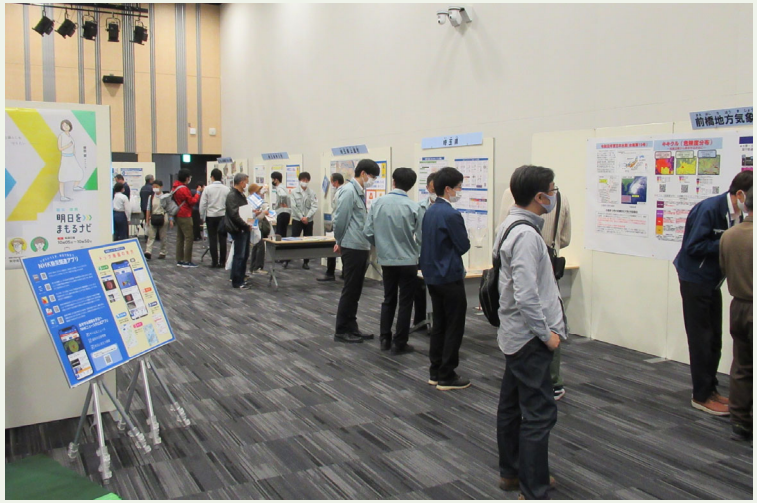
取組番号	28	取組項目名	【重点】R3 関係自治体等の公共施設及び公共交通機関施設等への防災関連情報の掲示やパンフの設置	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・住民の目にとまりやすい公共施設等にハザードマップ掲示、防災関連パンフレット設置（各機関） ・市町防災部局等へそれぞれの公共施設等に洪水浸水想定区域図やハザードマップの掲示、防災関連パンフレット設置と協議会構成員に働きかける（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」の関連展示物を庁舎内に展示。（R3.12~　関東地方整備局） ・本庁舎や各支所窓口、公民館等に防災関連の情報掲示やパンフレットを設置（高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社）
実施予定	・継続実施

■関東地方整備局高崎河川

水防災フォーラム（Gメッセ）における展示状況（R3.11.3）



高崎河川国道事務所庁舎内における展示状況（R3.12~）

取組番号	28	取組項目名	【重点】R3 関係自治体等の公共施設及び公共交通機関施設等への防災関連情報の掲示やパンフの設置	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・住民の目にとまりやすい公共施設等にハザードマップ掲示、防災関連パンフレット設置（各機関）

・市町防災部局等へそれぞれの公共施設等に洪水浸水想定区域図やハザードマップの掲示、防災関連パンフレット設置と協議会構成員に働きかける（関東地方整備局）

今年度の実施状況

・「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」の関連展示物を庁舎内に展示。（R3.12～　関東地方整備局）
・本庁舎や各支所窓口、公民館等に防災関連の情報掲示やパンフレットを設置（高崎市、藤岡市、玉村町、上里町、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社）

実施予定

・継続実施

■各機関における防災関連のパンフレット等掲示状況

藤岡市　公民館における掲示状況

上里町　防災関連パンフレットの設置

JR東日本高崎支社

↑高崎駅
（改札口付近）

下久保ダム管理所

「令和元年東日本（台風第19号）における下久保ダムの防災操作について」の小冊子、防災関連リーフレットの配布及び公共施設等へ設置している。

玉村町
・「避難勧告廃止」のポスターを広報に掲載し、公共施設に掲示した。
・各公民館に浸水想定図を掲示した。(5月)

前橋地方気象台（前橋地方合同庁舎）

↑受付入口に防災気象情報の解説用パンフレットを設置

↑掲示板及びパンフレット置き場にポスターやリーフレット等を設置

熊谷地方気象台

取組番号	29	取組項目名	【重点】R3 浸水想定区域内の水害リスクのある住民等に対するマイ・タイムライン（避難行動計画）の作成・普及啓発	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水浸水想定区域内の小学校、自主防災組織のある地区に対してマイ・タイムライン作成講習の実施（各機関）

今年度の実施状況

・マイ・タイムラインの周知および作成講座を開催（高崎市）
・ホームページやハザードマップに記載して周知（藤岡市、神川町、上里町）
・HPや公式YouTubeチャンネルを活用してマイタイムライン作成を促す投稿をする等の広報を実施）（群馬県）
・災害対策基本法の改正に伴い「防災マニュアルブック（風水害・土砂災害編）」の修正を実施（埼玉県）

実施予定

・今後も適宜実施

■関東地方整備局高崎河川　2021年11月3日　13時~16時（入退室自由）
「烏・神流川流域における水防災フォーラム」において「マイ・タイムライン作成講座」を開催

参加者自らがマイ・タイムラインを作成

作成したマイ・タイムライン

AR浸水体験コーナー

■関東地方整備局高崎河川

- マイ・タイムライン作成シートを製作し、高崎河川国道事務所HPにて公開（R4年３月末迄に公開予定）

マイ・タイムライン作成のための説明動画（抜粋）

マイ・タイムライン作成シート（イメージ）

※シール等は対象者により異なる場合がある

出典）　高崎河川国道事務所

取組番号	29	取組項目名	【重点】R3 浸水想定区域内の水害リスクのある住民等に対するマイ・タイムライン（避難行動計画）の作成・普及啓発	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・洪水浸水想定区域内の小学校、自主防災組織のある地区に対してマイ・タイムライン作成講習の実施（各機関）
今年度の実施状況	・マイ・タイムラインの周知および作成講座を開催（高崎市） ・ホームページやハザードマップに記載して周知（藤岡市、神川町、上里町） ・HPや公式YouTubeチャンネルを活用してマイタイムライン作成を促す投稿をする等の広報を実施）（群馬県） ・災害対策基本法の改正に伴い「防災マニュアルブック（風水害・土砂災害編）」の修正を実施（埼玉県）
実施予定	・今後も適宜実施

■上里町
防災ガイド・ハザードマップにマイ・タイムラインを掲載し、毎戸配布した。また、防災講習会（5回）を通して、防災ガイド・ハザードマップ掲載のマイ・タイムライン作成の周知を図った。

防災ガイド・ハザードマップの毎戸配布（広報かみさとと同時配布）

防災講習会（R3年10月19日）

防災講習会（R3年10月29日）

防災講習会（R3年11月4日）

■高崎市
阿久津町公民館にてマイタイムライン作成支援

マイ・タイムライン作成支援（R3年12月4日）

■藤岡市
・市ホームページ等にてマイ・タイムラインを周知

■神川町
・洪水ハザードマップにマイ・タイムラインページを設ける

取組番号	29	取組項目名	【重点】R3 浸水想定区域内の水害リスクのある住民等に対するマイ・タイムライン（避難行動計画）の作成・普及啓発	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、関東地方整備局	重点項目

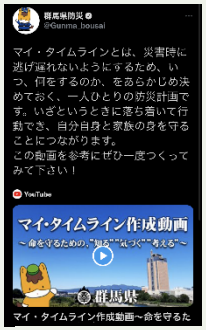
取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・洪水浸水想定区域内の小学校、自主防災組織のある地区に対してマイ・タイムライン作成講習の実施（各機関）
今年度の実施状況	・マイ・タイムラインの周知および作成講座を開催（高崎市） ・ホームページやハザードマップに記載して周知（藤岡市、神川町、上里町） ・HPや公式YouTubeチャンネルを活用してマイタイムライン作成を促す投稿をする等の広報を実施）（群馬県） ・災害対策基本法の改正に伴い「防災マニュアルブック（風水害・土砂災害編）」の修正を実施（埼玉県）
実施予定	・今後も適宜実施

■群馬県
・マイ・タイムライン作成講習会を計6回実施（予定）
・群馬県HPや公式YouTubeチャンネル「tsulunos」にマイ・タイムライン作成動画を投稿、台風接近時に群馬県防災ツイッターに作成を促す投稿をする等の広報を実施している。

マイ・タイムライン作成動画

ぐんま地域防災アドバイザーフォローアップ研修



群馬県防災ツイッター

■埼玉県
災害対策基本法の改正に伴い「防災マニュアルブック（風水害・土砂災害編）」を修正した。

取組番号	30	取組項目名	【重点】 災害リスクの現地表示の促進（まるごとまちごとハザードマップの実施）	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県	重点項目

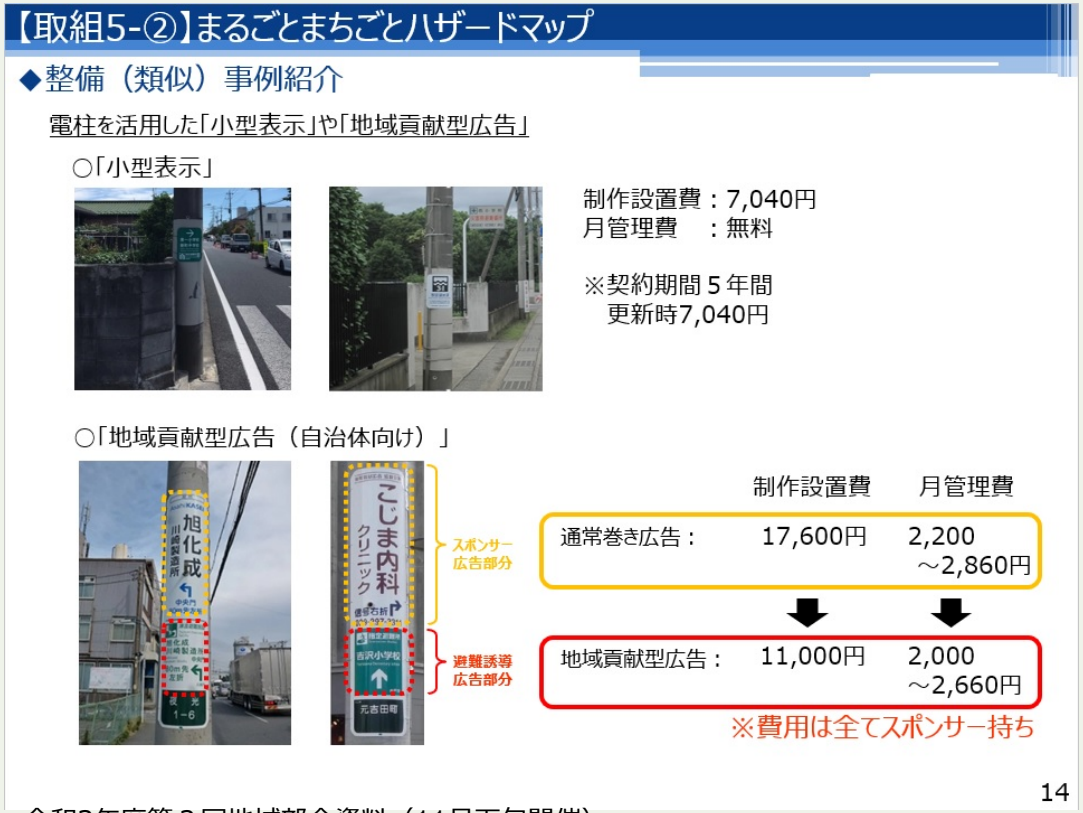
取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・設置事例や利活用事例等の共有（各機関） ・設置事例や利活用事例等の情報収集（藤岡市） ・浸水想定区域内の電柱、学校、公共施設等に浸水深、避難経路などの表示看板を設置（高崎市、玉村町、神川町、上里町） ・河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会で必要箇所を整理した上で設置（群馬県）
今年度の実施状況	・現地表示の促進に係る情報収集（高崎市、藤岡市） ・霞堤防付近への災害リスクに係る現地表示を設置（R4.3　藤岡市） ・利活用事例の共有（群馬県）
実施予定	・今後、実装できるよう検討 ・令和3年度整備予定箇所の標識設置（群馬県）

■高崎市
・災害リスク現地表示の設置事例や利活用事例等の共有や研究を実施

■藤岡市
・現地表示の促進に係る情報収集
・霞堤防付近への災害リスクに係る現地表示を設置

■群馬県（事例紹介）
東電電柱を活用した表示事例紹介



令和3年度第２回地域部会資料（11月下旬開催）

取組番号	31	取組項目名	【重点】R3 自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

・洪水時に必要に応じて職員による巡視（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町）
・平常時の年1回の巡視（上里町）
・洪水時の点検計画の確認（神川町）
・河川巡視により得られた情報を、関係機関、水防団等と情報共有（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町）
・自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施（各機関）

今年度の実施状況

・令和３年６月２５日に、自治体等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施（高崎市、藤岡市、上里町、神川町、群馬県、下久保ダム管理所、気象庁前橋地方気象台、関東地方整備局）
・各県管内の市町村担当者および地域住民の代表者等と重要水防箇所の合同点検を実施（高崎市、群馬県、埼玉県、熊谷地方気象台）
・伊勢崎土木、利根上河川事務所や消防署などと重要水防箇所の共同点検を行った（玉村町）
・下久保ダムからのゲート放流時に職員が巡視を実施（下久保ダム管理所）
・洪水時の点検計画の確認（神川町）
・河川巡視により得られた情報を、関係機関（国、ダム等）、水防団と情報共有（神川町）

実施予定

・令和4年度以降も、継続して実施予定

■関東地方整備局高崎河川 他

〇緊急時に的確な水防活動を行うため、令和3年６月25日、烏川における洪水に対しリスクの高い区間（重要水防箇所等）について、河川管理者と水防活動に関わる関係者（水防活動に係る建設業者を含む）が共同して点検を実施した。

令和3年度共同点検

場所：烏川・鏑川合流点付近
（藤岡市森新田地先）

参加機関：

・高崎市
・藤岡市
・上里町
・神川町
・群馬県
・水資源機構　下久保ダム管理所
・気象庁　前橋地方気象台
・関東地方整備局　高崎河川国道事務所

計 24 名

R02重要水防箇所平面図（総括図）

共同点検の様子

危機管理水位計の確認

重要水防箇所の説明

携帯電話による災害情報入手方法の確認

取組番号	31	取組項目名	【重点】R3 自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、下久保ダム管理所、前橋・熊谷地方気象台、JR東日本高崎支社、上信電鉄、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

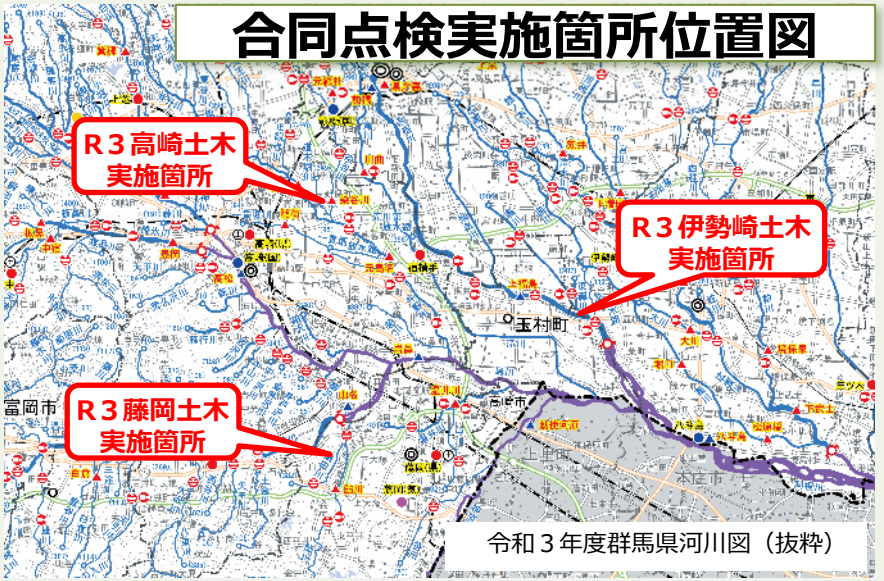
実施内容	・洪水時に必要に応じて職員による巡視（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町） ・平常時の年1回の巡視（上里町） ・洪水時の点検計画の確認（神川町） ・河川巡視により得られた情報を、関係機関、水防団等と情報共有（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町） ・自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施（各機関）
今年度の実施状況	・令和３年６月２５日に、自治体等と洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検を実施（高崎市、藤岡市、上里町、神川町、群馬県、下久保ダム管理所、気象庁前橋地方気象台、関東地方整備局） ・各県管内の市町村担当者および地域住民の代表者等と重要水防箇所の合同点検を実施（高崎市、群馬県、埼玉県、熊谷地方気象台） ・伊勢崎土木、利根上河川事務所や消防署などと重要水防箇所の共同点検を行った（玉村町） ・下久保ダムからのゲート放流時に職員が巡視を実施（下久保ダム管理所） ・洪水時の点検計画の確認（神川町） ・河川巡視により得られた情報を、関係機関（国、ダム等）、水防団と情報共有（神川町）
実施予定	・令和4年度以降も、継続して実施予定

■群馬県他

○近年の豪雨で課題となっている避難行動について、地域住民が自らリスクを察知し、主体的に避難行動を実施してもらうため、各土木事務所管内における水害リスクの高い区間（重要水防箇所等）について、河川管理者と水防活動に関わる関係者（水防活動に係る建設業者を含む）及び地域住民の代表者が共同して点検を実施しました。

令和3年度共同点検の参加機関

・高崎土木事務所管内　：４機関　計 12名
・伊勢崎土木事務所管内：５機関　計 10名
・藤岡土木事務所管内　：３機関　計　５名



令和３年度群馬県河川図（抜粋）

各事務所における合同点検の様子

伊勢崎土木管内での実施
（玉村町上福島地先）

高崎土木管内での実施
（高崎市新保町地先）

藤岡土木管内での実施
（藤岡市本動堂地先）

取組番号	32	取組項目名	水防団等への連絡体制の確認と伝達訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・災害対策本部から河川水位情報について水防団へ連絡体制の確認・更新（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町） ・メール等配信訓練・伝達訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県） ・群馬県水防計画に基づく伝達系統をもとにFAXにて連絡確認（群馬県） ・水位及び雨量については群馬県水位雨量情報HPにて公開（群馬県） ・群馬県水防計画作成に併せ連絡先の見直し（群馬県） ・洪水対応演習の実施（埼玉県）
今年度の実施状況	・連絡体制の確認・更新、伝達訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、埼玉県） ・人的ミスや作業量の軽減を図ることを目的として、水防警報等発表文の自動作成や伝達が可能な「水防警報等支援システム」を構築し、伝達演習を実施（予定）（群馬県）
実施予定	・今後も継続して実施（各機関） ・「水防警報等支援システム」を来年度出水期より本格運用開始。（群馬県） ・伝達方法を従来のFAXのみから、FAX・メール併用の形式に変更（群馬県）

■高崎市

・災害対策本部から水防団への連絡体制の確認、更新

■藤岡市

・図上訓練の実施により関係機関との連絡体制の確認（R3.8）

■上里町

・消防団本部役員会議や消防団各種訓練・整備等での連絡体制の確認及び伝達訓練の実施

連絡体制の概要（上里町）
河川の水位上昇による巡回や、浸水による土のう積みなど、団長及び本部からの連絡、または団同士での連携など情報交換を含め連絡を取り合う手段として防災行政無線を使用する。

※民間企業による通信網が通信可能な場合は、LINEを使用した連絡体制としている。平時より消防団（水防団）によるLINEグループが構築されており、連絡手段として使用している。LINEにより動画や静止画の撮影ができ、データの転送により団員全員が映像として確認が行え、共通認識が図れる。

※令和2年度には各消防団（水防団）同士の情報伝達手段の多重化を図るべく、トランシーバーを購入し、団長及び副団長、各分団に６台ずつ配備した。

■玉村町

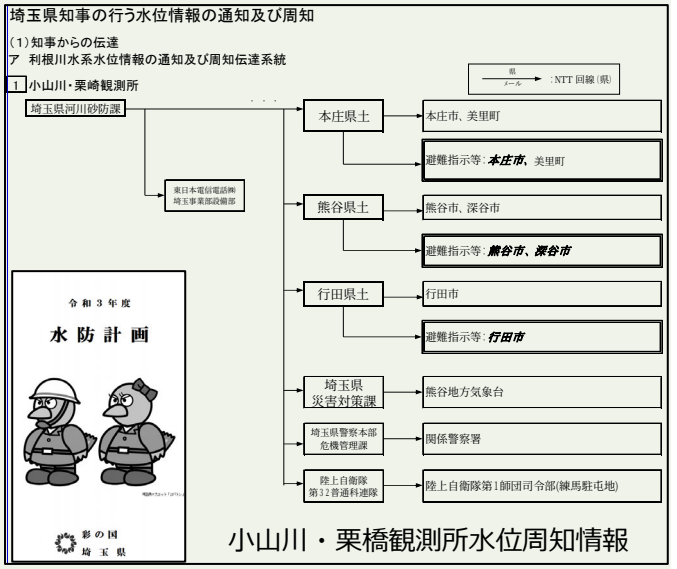
・メール伝達訓練を実施した。（R3年9月）

■神川町

・消防団が連絡体制の確認を行い、情報伝達訓練を実施

■埼玉県

・洪水対応演習の実施
・洪水予警報等の伝達先変更（令和３年埼玉県水防計画に記載）



小山川・栗橋観測所水位周知情報

取組番号	32	取組項目名	水防団等への連絡体制の確認と伝達訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

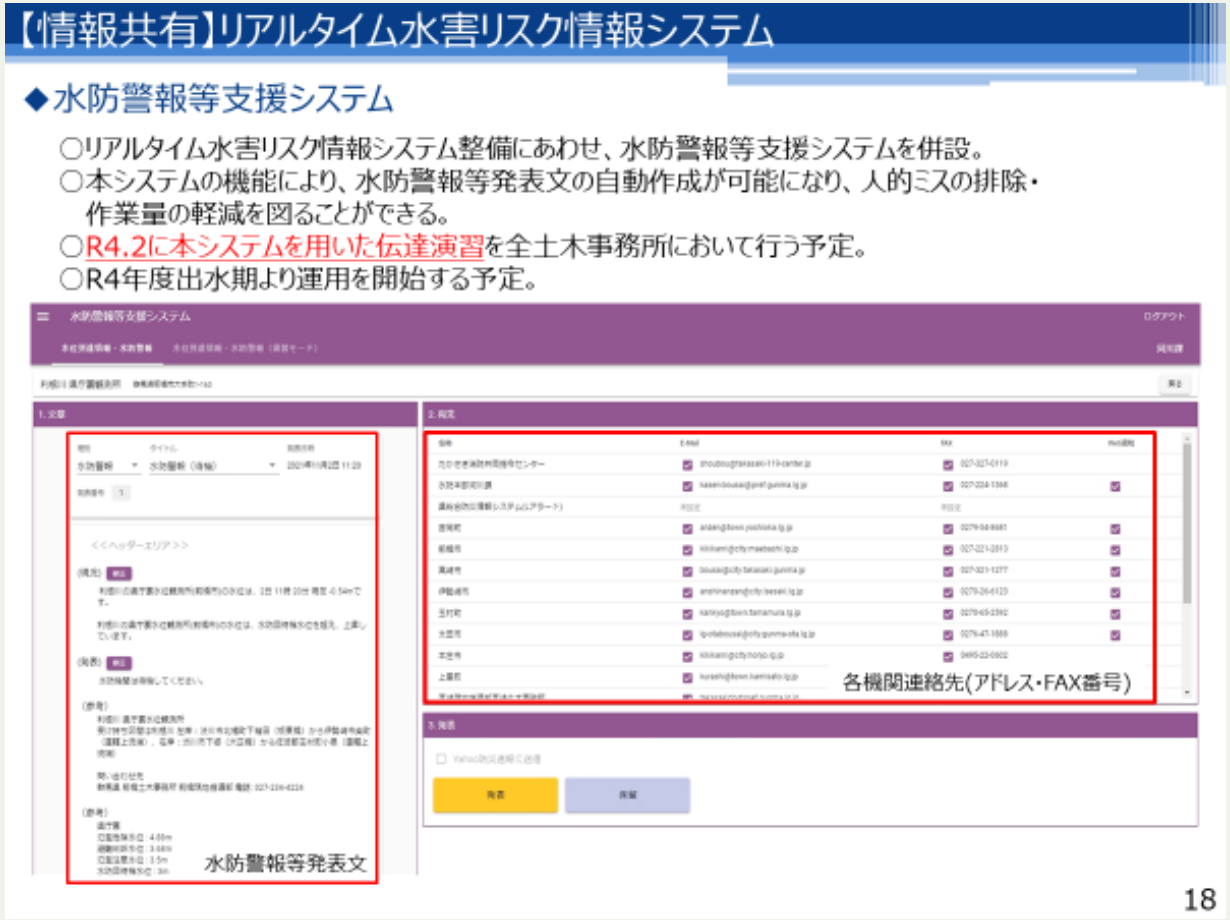
実施内容	・災害対策本部から河川水位情報について水防団へ連絡体制の確認・更新（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町） ・メール等配信訓練・伝達訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県） ・群馬県水防計画に基づく伝達系統をもとにFAXにて連絡確認（群馬県） ・水位及び雨量については群馬県水位雨量情報HPにて公開（群馬県） ・群馬県水防計画作成に併せ連絡先の見直し（群馬県） ・洪水対応演習の実施（埼玉県）
今年度の実施状況	・連絡体制の確認・更新、伝達訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、埼玉県） ・人的ミスや作業量の軽減を図ることを目的として、水防警報等発表文の自動作成や伝達が可能な「水防警報等支援システム」を構築し、伝達演習を実施（予定）（群馬県）
実施予定	・今後も継続して実施（各機関） ・「水防警報等支援システム」を来年度出水期より本格運用開始。（群馬県） ・伝達方法を従来のFAXのみから、FAX・メール併用の形式に変更（群馬県）

■群馬県

・人的ミスや作業量の軽減を図ることを目的として、水防警報等発表文の自動作成や伝達が可能な「水防警報等支援システム」を構築し、伝達演習を実施（予定）

・来年度出水期より本格運用開始。

・伝達方法を従来のFAXのみから、FAX・メール併用の形式に変更予定。



第2回地域部会資料（令和3年11月下旬開催）

取組番号	33	取組項目名	【重点】 関係機関と連携した水防技術の継承等のための水防訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

- 市防災訓練に併せて水防技術の継承等のための水防訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町）
- 神流川沿岸水害予防組合主催の水防訓練の実施（神川町）
- 関係機関と連携して水防工法の普及や水防訓練の実施（神川町）
- 坂東上流水害予防組合及び神流川水害予防組合主催の水防訓練（上里町）
- 利根川水系連合総合水防演習（群馬県、関東地方整備局）
- 水防技術講習会（群馬県）
- 関係機関と連携した水防技術の継承等のための水防訓練の実施（埼玉県）
- 災害対策用機器操作講習会の実施（関東地方整備局）
- 近隣市町、県の総合防災訓練への参加（関東地方整備局）
- 国、県、及び市町が行う水防訓練へ参加（前橋・熊谷地方気象台）

今年度の実施状況

- 神流川水害予防組合主催の水防訓練（神川町、上里町）
- 水防訓練、水防工法訓練の実施（高崎市、藤岡市）
- 水防技術講習会への参加（茨城県取手市）（埼玉県）
- 新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から訓練の開催・参加を中止（群馬県、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）

実施予定

- 継続実施

■高崎市

総合防災訓練のプログラム内に水防訓練を入れ実施

高崎市総合防災訓練の様子（R3.11.13）
委託業者による排水ポンプ車操作訓練

■藤岡市

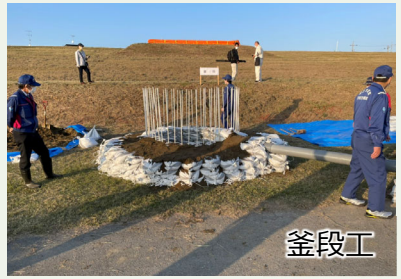
水防団による水防工法訓練を実施した。

水防工法訓練
（藤岡市　令和3年４月２５日）

ここで作成した土のうは、自主防災組織と連携し、地域に配布する等に活用している。

■埼玉県

水防技術講習会への参加（茨城県取手市）



■群馬県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局高崎河川

・新型コロナ禍の影響により、令和3年度の「利根川水系連合・総合水防演習」は中止となった。（次年度以降継続して実施予定）

取組番号	33	取組項目名	【重点】 関係機関と連携した水防技術の継承等のための水防訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、上里町、群馬県、埼玉県、前橋・熊谷地方気象台、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容

- 市防災訓練に併せて水防技術の継承等のための水防訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町）
- 神流川沿岸水害予防組合主催の水防訓練の実施（神川町）
- 関係機関と連携して水防工法の普及や水防訓練の実施（神川町）
- 坂東上流水害予防組合及び神流川水害予防組合主催の水防訓練（上里町）
- 利根川水系連合総合水防演習（群馬県、関東地方整備局）
- 水防技術講習会（群馬県）
- 関係機関と連携した水防技術の継承等のための水防訓練の実施（埼玉県）
- 災害対策用機器操作講習会の実施（関東地方整備局）
- 近隣市町、県の総合防災訓練への参加（関東地方整備局）
- 国、県、及び市町が行う水防訓練へ参加（前橋・熊谷地方気象台）

今年度の実施状況

- 神流川水害予防組合主催の水防訓練（神川町、上里町）
- 水防訓練、水防工法訓練の実施（高崎市、藤岡市）
- 水防技術講習会への参加（茨城県取手市）（埼玉県）
- 新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から訓練の開催・参加を中止（群馬県、前橋地方気象台、熊谷地方気象台、関東地方整備局）

実施予定

- 継続実施

■神川町・上里町

神川町・上里町で構成する神流川水害予防組合で水防技術研修を実施した。
訓練では土のう積み等を行い、災害時に水防工法を迅速に施せるよう、水防技術の向上に努めるとともに、2町合同訓練により、自治体の枠を超えた連携の強化を図った。

神流川水害予防組合水防技術研修
- 実施日：　令和３年６月２０日
- 場　所　：　神川町消防団第３分団詰所
- 講　師　：　児玉郡市広域消防本部職員
- 参加者　：　神川町消防団、上里町消防団、広域消防本部、神川・上里町職員
- 研修内容：　水防工法等について
  - 土嚢作り・積み方
  - 神川・上里消防団合同中継送水

土のう作成

土のう作成

積み土のう工法

中継送水

中継送水

取組番号	34	取組項目名	水防団員の実働者（担い手）の確保	取組機関	玉村町、神川町、上里町

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・水防活動の担い手となる水防協力団体を募集（広報活動）する（玉村町、神川町、上里町） ・水防団の指定（玉村町、神川町） ・水防団の人数、年齢構成を把握（神川町）
今年度の実施状況	・SNS（Instagram）を活用した水防団（消防団）の募集（玉村町） ・水防活動の担い手となる水防協力団体の募集を実施（神川町） ・公共施設等でのポスターやチラシなどにより消防団（水防団）の募集（広報活動）を実施している（上里町）
実施予定	・継続実施

■玉村町

・SNS（Instagram）を活用して水防団（消防団）の募集を行っている。（5月~）

■上里町

・公共施設等でのポスターやチラシなどにより消防団（水防団）の募集（広報活動）を実施している。

庁舎等でのポスター・チラシの設置状況

ポスター

ポスター

チラシ

ポスター

■神川町

・広報、ホームページ等により消防団員（水防団員）を募集した。

取組番号	35	取組項目名	【重点】R3 排水作業準備計画（案）に基づく関係機関と連携した緊急排水活動の実働訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、群馬県、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・排水作業準備計画（案）に基づくポンプ車等による排水実働訓練の実施、参加（各機関） ・排水作業時の改善点等を検証して計画に反映（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・市保有の排水ポンプ車操作訓練の実施（高崎市） ・排水ポンプ車運用マニュアルに基づくポンプ車等による排水実動訓練を実施（4事務所/5台）（群馬県、高崎市） ・排水実働訓練の実施または参加（高崎市、藤岡市、関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■高崎市

市保有の排水ポンプ車操作訓練

訓練の様子
（R3.5.27）

■群馬県

・訓練参加者：高崎市
・排水ポンプ車運用マニュアルに基づくポンプ車等による排水実動訓練を実施（4事務所/5台）

高崎地域部会による訓練写真（令和3年7月）

伊勢崎地域部会による訓練写真（令和3年6月）

取組番号	35	取組項目名	【重点】R3 排水作業準備計画（案）に基づく関係機関と連携した緊急排水活動の実働訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、群馬県、関東地方整備局	重点項目

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・排水作業準備計画（案）に基づくポンプ車等による排水実働訓練の実施、参加（各機関） ・排水作業時の改善点等を検証して計画に反映（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・市保有の排水ポンプ車操作訓練の実施（高崎市） ・排水ポンプ車運用マニュアルに基づくポンプ車等による排水実動訓練を実施（4事務所/5台）（群馬県、高崎市） ・排水実働訓練の実施または参加（高崎市、藤岡市、関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■関東地方整備局高崎河川

烏・神流川排水作業準備計画（案）(令和３年３月改定) に準じ、現地で排水ポンプ車や照明車の実動訓練を実施し、手順の確認及び課題抽出を行った。

- 実施日時：
  令和３年８月３日(火)
- 開催場所：
  烏川右岸堤防 3.6k付近
  （高崎市新町、新町第１樋管周辺）

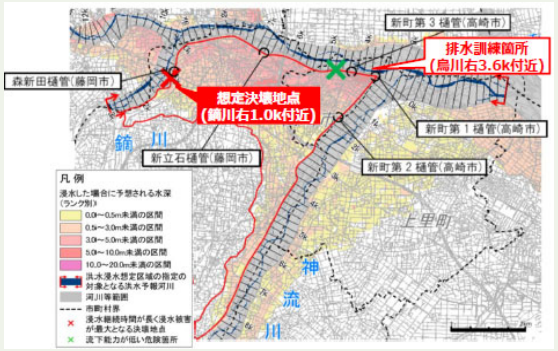
【訓練実施者】

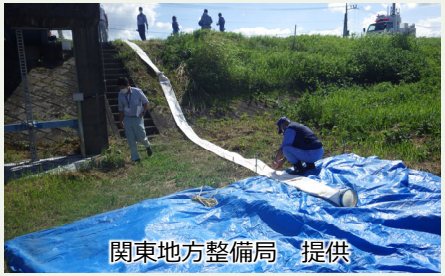
- 河川管理者、排水ポンプ車・照明車管理者：
  高崎河川国道事務所　河川管理課、防災課、高崎出張所
- 車両運搬・操作委託業者：
  日の丸ディーゼル株式会社

【訓練参加者】

- 高崎市、藤岡市

R3年度 排水実働訓練　実施状況





取組番号	36	取組項目名	排水作業準備計画（案）に基づく排水樋管の管理者（操作委託者）による樋管操作訓練の実施	取組機関	高崎市、藤岡市、玉村町、関東地方整備局

取組状況（図面、写真等を用い、できるだけ数値を用いて具体的に記載）

実施内容	・樋管操作訓練の実施（高崎市、藤岡市、玉村町） ・樋管の操作及び点検を自治体に委託、操作点検を毎月実施（関東地方整備局） ・出動体制確保、日常管理体制確保の実施（関東地方整備局）
今年度の実施状況	・排水訓練・樋管操作訓練の実施（玉村町） ・樋管の操作及び点検を自治体へ委託（関東地方整備局） ・出動体制確保、日常管理体制確保の実施（関東地方整備局）
実施予定	・継続実施

■玉村町

矢川樋管（五料地区）で排水訓練を行った際に、樋管操作訓練を併せて行った。（令和3年9月）

■関東地方整備局高崎河川

樋管の操作及び点検を自治体へ委託するとともに、出動体制や日常管理体制について確認を行った。